

スポーツおおいた

Oita Journal of Sports Science

創刊号

2017.12



一般社団法人 大分県スポーツ学会

目 次

巻頭言	稲垣 敦	1
祝 辞	森 照明	2
原著・総説	平川 史子	3
第7回フォーラム		
開催報告	山田 雅也・牧 健一郎	10
プログラム		11
登壇者発表		
スポーツと社会の関わり ～スイミングスクールの取り組み～	坂本 真啓	12
大規模スポーツイベントを契機としたスポーツ・ツーリズムの取組…	杉原 勉	14
大分から世界へ	高松 大樹	16
スポーツがもたらす経済的波及効果・精神的波及効果の実際		
ートリニータが県民にもたらす各種効果に焦点化してー	竹田 隆行	18
スポーツの成長産業化とラグビーワールドカップ2019	中村 剛士	20
スポーツ救護講習会・メディカルマネージャー養成講習会		
スポーツ救護講習会		24
メディカルマネージャー養成講習会		25
第9回学術大会		
ごあいさつ		28
プログラム		30
名義後援		32
広告		33
会員へのお知らせ		
平成28年度事業決算報告		40
平成29年度事業予算		41
会計監査報告		42
大分県スポーツトレーナーズ協議会のご案内		43
「スポーツおおいた」投稿規定		45
一般社団法人大分県スポーツ学会 定款		46

巻 頭 言



「スポーツおおいた」創刊にあたって

一般社団法人 大分県スポーツ学会 理事長

稲垣 敦 (大分県立看護科学大学 教授)

この度、一般社団法人 大分県スポーツ学会では、機関誌「スポーツおおいた」を創刊することになりました。これもひとえに会員の皆様をはじめ、行政や大分県のスポーツ関係者の皆様のご協力やご指導の賜物と心より感謝申し上げます。

当学会は、スポーツに関する知識と技術の研鑽を積み、会員相互の情報交換を通じて、大分県における健全なる青少年の育成とスポーツの人材育成を図ると共に、県民の体力向上、健康増進、スポーツ文化の醸成に寄与することを目的として、平成22年の春に設立されました。それ以降、totoの助成を受けてスポーツ救護ナースやスポーツ救護員の養成、派遣、スキルアップ研修会の開催、メディカルマネージャー、メディカルマネージャーインストラクターの養成、学術大会、フォーラム、スポーツ救護スキルアップ研修会の開催等を精力的に開催して参りました。これは設立発起人代表で初代理事長を務められた森照明顧問、そして大場俊二副理事長の強力なリーダーシップと事務局のご尽力の賜物であります。当学会がこの目的を達成するためには、選手や指導者も含め、様々な形でスポーツに関わる人々が一同に会して、大分のスポーツについて語り、議論することが必要不可欠であり、事実、このこと自体が正に当学会の設立の趣旨でありました。今後、学術大会、フォーラム以外の形であらゆるスポーツ関係者が集う機会を早急に実現したいと考えておりますが、まずは、機関誌という形で県民の皆様に知って頂き、当学会の趣旨にご賛同頂き、活動にご参加頂きたいと考えました。編集委員長には、経験豊富な大分大学医学部名誉教授の島田達生理事に就任して頂き、格調の高い雑誌となりました。学会誌ですから研究論文など学術的な内容もありますが、広く多くの皆様のお役に立てるような実践的な記事も多数掲載して参ります。また、現代はICTの進歩で、情報伝達が著しく速く、そして広くなったため、多くの学会も学会誌はインターネットを介して公開する時代です。そこで、当学会も学会HPで公開するインターネットジャーナルにしました。どうかいつでもどこからでも当学会HPにアクセスして頂き、役立てて頂ければ幸甚です。

最後になりましたが、会員および大分県のスポーツ関係者の皆様のご健勝とご活躍を祈念し、また、当学会へのご参加とご指導をお願いいたしまして、機関誌創刊の挨拶に代えさせていただきます。

「スポーツおおいた」創刊を祝して



大分県スポーツ学会前理事長・顧問

森 照明 (社会医療法人敬和会 統括院長)

大分県スポーツ学会は2010年3月に「スポーツに関する知識と技術の研鑽を積み、会員相互の情報交換を通じて、大分県における健全なる青少年の育成とスポーツの人材育成を図り、県民の体力向上、健康増進、スポーツ文化の醸成に寄与することを目的とする」ことで設立されました。

2012年4月には学会事業の一つとして「スポーツ救護ナース・救護員」の養成・派遣事業が始まり6年目を迎え、現在まで総数666名の救護ナースと救護員を認定しました。平成25年4月から平成28年12月までの派遣総回数1132回、派遣総延人数1288名であり、全国的にもスポーツ関係者から高い評価を得ております。

そして今回は島田達生理事が編集委員長となり、大分県スポーツ学会の機関誌であり、県民の健康とスポーツ振興に関する研究発表とスポーツ全分野の方々の情報交換と人材育成を目的とする学術誌であると同時に連絡誌を兼ねる「スポーツおおいた」英文名「Oita Journal of Sports Science」が創刊されることになりました。

当学会は着実に充実発展しており、当初の学会設立の目的を果たしつつあると実感しております。電子媒体の機関誌と当面は2本立てで発刊すると聞いております。この「スポーツおおいた」が会員はもちろん県民の皆様にもお役に立つことを願っております。

2019年にはラグビーワールドカップが大分県で開催され、2020年には東京オリンピックが開催されます。我々は大きく貢献できると考えています。

また、2025年の超高齢社会に向け、スポーツの世界にも多様性を受容れマネジメントする「スポーツダイバーシティ」が求められています。

私たちみんなで旗手になって、頑張りましょう。



スポーツと栄養

平 川 史 子

別府大学 食物栄養科学部 食物栄養学科

I. スポーツと栄養の関わり

我が国の健康づくり対策として策定された「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」は2000年に施行され、2013年からは現在の「健康日本21（第2次）」が展開されている¹⁻²⁾。この「健康日本21」はそれまでの行政や医療・保健関係者を中心とした専門家による活動から、住民参画に基づいた行政と住民の協力関係による活動へと大きく転換する起点となった。「健康日本21」の理念とそのための基本戦略は、栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙、歯・口腔の健康の各分野に関する生活習慣の改善をすることで、生活習慣病の一次予防をより重視して健康寿命を延ばし、生活の質の向上を図ることであった。「健康日本21」により健康づくりのための日常的なスポーツ活動が盛んになり、より健康的な食生活を目指そうとする風潮が市民レベルで高まってきた。

一方、食育の推進に関しては2005年に食育基本法が策定された³⁾。この中で、食育は生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付けるとともに、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることが広く求められた。この法律の施行によって、幼稚園・保育園、小学校、中学校等の学校教育現場を中心に食育が実践されるようになり、学校の部活動やスポーツ少年団において食の重要性に目を向けられるこ

ととなった。

さらに、2011年に策定されたスポーツ基本法⁴⁾の基本理念として我が国のスポーツに関する競技水準の向上のためスポーツに関する科学研究の推進等が盛り込まれ、競技力向上のための栄養学研究が盛んに行われるようになった。

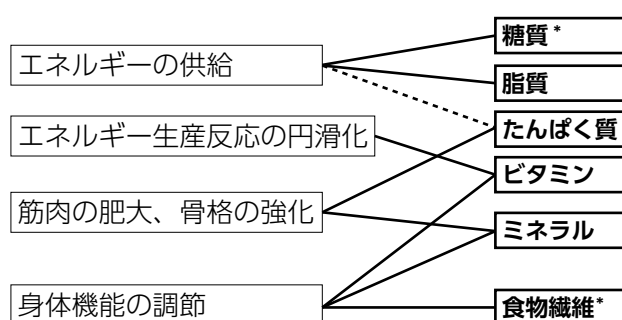
II. スポーツにおける栄養の役割

スポーツの効果を最大限に発揮させるための食事には質（何を）、量（どのくらい）、タイミング（いつ）が求められる。

まず、第一に食事の質という、いわゆる栄養素の役割を理解しておく必要がある。スポーツにおける栄養素の役割を図1に示す。スポーツにおける栄養素の役割は主に①エネルギーの供給、②エネルギー生産反応などの代謝の円滑化、③筋肉の肥大、骨格の強化、④身体機能の調節が挙げられる。

筋細胞が収縮するなど、細胞が活動するためには、エネルギーが必要である。そのエネルギーは栄養素の中に存在し、栄養素が細胞内に入ると分解されてATPを産生しエネルギーが生じる。このエネルギーを用いて骨格筋では筋収縮が行われる。エネルギーを産生する栄養素は主に炭水化物、脂質、タンパク質である。

図2は水分を除く食事組成としての一般的な栄養素の構成比と、成人男性における体組成としての栄養素の構成比を示している。糖質は、食事組成で約60%を占めているが、



*糖質と食物繊維を合わせて炭水化物と呼ぶ。

図1. スポーツにおける栄養素の役割

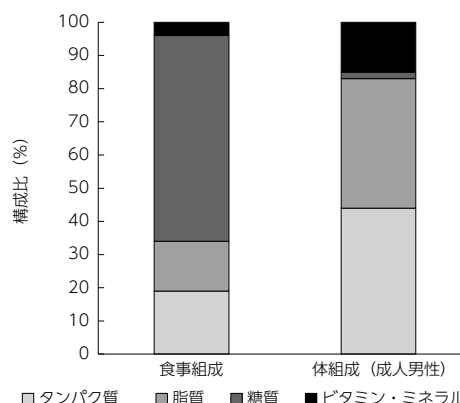


図2. 食事組成と体組成の栄養素構成比の比較

体組成としては、わずか1%程度でしかない。このことは、糖質は毎日の食事では多く摂取しているものの日々消費されていることを示しており、効率の良いエネルギー源として利用される。体内に吸収される大部分はグルコースであり、腸管から門脈を経て肝臓に運ばれ、一部は肝臓でグリコーゲンに合成されるが、残りはそのまま血液中に放出される。筋肉などの組織は血液中のグルコースを取り込み、グリコーゲンに合成して貯蔵する。糖質はスポーツ・運動に不可欠なエネルギー源であり、運動強度が高くなればなるほど運動中のエネルギー源として糖質の使われる比率は高くなる。

脂質の中で、おもにエネルギー源となるのは、トリアシルグリセロールである。トリアシルグリセロールは体内で加水分解されて、3個の脂肪酸と1個のグリセロールになる(図3)。グリセロールは解糖系に入り、脂肪酸は β 酸化を経てクエン酸回路、電子伝達系、酸化リン酸化により大量のATPを産生する。 β 酸化は肝臓、筋肉、腎臓などのミトコンドリアで進む反応であり、ビタミンB₂、ナイアシン、パントテン酸などのビタミンB群が補酵素として関与している。糖質が1gあたり約4kcalのエネルギー量を産出するのに対して、脂肪1gあたり約9kcalのエネルギー量を産出するコンパクトなエネルギー源である。運動によってアドレナリンが分泌されると、脂肪の分解が促進されて筋肉への脂肪酸の供給が増大する。運動強度が60%程度までの運動では、脂肪と糖質が約半々に利用されている。

タンパク質はエネルギー源としてよりも、運動のための体づくりに必要な栄養素である。タンパク質はアミノ酸からできているが、必須アミノ酸のいずれか1つが欠けてい

ても体タンパク質は合成できない。体の各組織のタンパク質は常に新しく作りかえられているので、食事から十分なタンパク質を確保することが重要である。運動によって筋肉タンパク質の分解は亢進し、運動後に合成能が高まる。筋肉は強い刺激によって壊されるが、運動後に筋肉タンパク質合成に必要な栄養素を補給すると、筋肉を増強することができる。

ビタミンはエネルギー代謝の補酵素として働き、体調を整えるうえで重要な栄養素である(図3)。運動時の糖質代謝には、ビタミンB群が必要で、不足すると運動能力の低下の原因となる。ビタミンB₆は、アミノ酸からタンパク質を再合成する過程に関与している。体内に存在するビタミンB₆の約80%は筋肉に存在しており、筋肉に貯蔵されているグリコーゲンからのエネルギー産生にかかわっている。ビタミンEなどの抗酸化ビタミンは、運動時に発生する活性酸素の除去に作用し、生体内の障害を防ぐ働きがある。ビタミンDやビタミンKは骨形成に、ビタミンCは運動時に分泌が高まるアドレナリンや副腎皮質ホルモンの合成に関与している。

ミネラルは生体構成成分の約4%しか含まれないが、生命維持・運動に必要な栄養素である。エネルギー代謝の亢進には、酸素の運搬能力が必須であるが、血液中の酸素を運ぶには赤血球中のヘモグロビンが重要な役割をもっている。したがって、運動選手においてはヘモグロビンを構成している鉄の需要が高まる。鉄が欠乏すると貧血となり、運動能力が低下する。カルシウムは筋細胞の収縮と弛緩に大切である。マグネシウムは神経と筋肉の興奮伝達に重要な役割を果たしている。

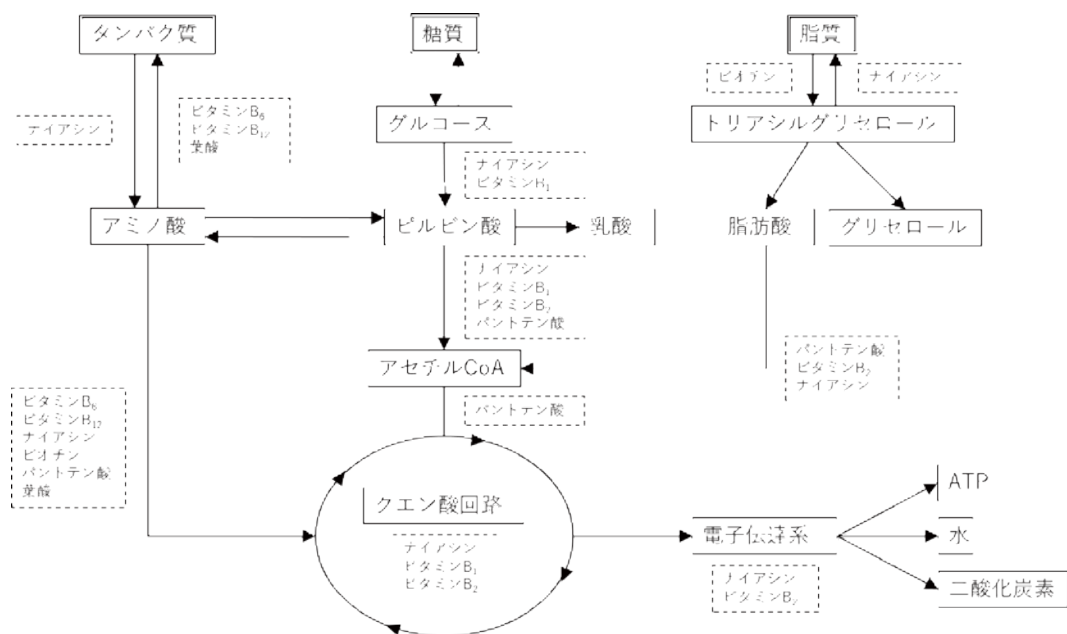


図3. エネルギー代謝とビタミンの関与

Ⅲ. スポーツとエネルギー・栄養素摂取量

スポーツ・運動時に必要なエネルギー量（どれだけ食べたらいいか）は、年齢や性別、運動の目的、成長による増加分、体格（体重もしくは除脂肪量）、競技種目、練習内容などによって異なる。エネルギー摂取量がエネルギー消費量を上回る状態（正のエネルギー収支バランス）が続けば体重は増加し、逆に、エネルギー消費量がエネルギー摂取量を上回る状態（負のエネルギー収支バランス）では体重が減少する。日本人の食事摂取基準【2015年版】（以下、食事摂取基準⁵⁾）では、エネルギー摂取量の過不足の評価には、BMI（body mass index）又は体重変化量を用いる。肥満者や低栄養の者でも、体重、体組成に変化がなければエネルギー摂取量とエネルギー消費量は等しい。したがって、健康の維持や増進のための運動を行う場合、単にエネルギー摂取量が必要量を過不足なく充足するだけでは不十分であり、望ましいBMIを維持するエネルギー摂取量（＝エネルギー消費量）であることが重要である。さらに、食事摂取基準では、炭水化物（アルコールを含む）、脂質、タンパク質とそれらの構成成分が総エネルギー摂取量に占めるべき割合（％エネルギー）をエネルギー産生栄養素バランスとし、これらの構成比率を目標量として示している。エネルギー産生栄養素バランスは、エネルギーを産生する栄養素並びにこれら栄養素の構成成分である各種栄養素の摂取不足を回避すると共に、生活習慣病の発症予防とその重症化予防を目的としている。

競技選手においても、最大のパフォーマンスを発揮するためのコンディション維持や体重管理には、エネルギー収支バランスが不可欠な要素である。しかしながら、競技特性や練習強度等によって消費エネルギー量が異なる競技選手に対し、選手個々人に見合ったエネルギーの摂取基準は定められていない。そこで、栄養・食事計画を立案する際にはまず、エネルギー消費量を推定する必要がある。エネルギー消費量は体格や身体組成、活動強度、トレーニング内容と熟練度、トレーニング目標などにより大きく変動するため、継続的に体重や身体組成のモニタリングを行い、各自に見合うエネルギーおよび各栄養素の摂取目標値を設定する必要がある⁶⁾。エネルギー摂取量の目安（推定エネルギー必要量）は、下記の式（JISS式）を用いて推定することができる（表1）⁷⁾。

推定エネルギー必要量

$$= 28.5 \text{ (kcal/LBM)} \times \text{LBM (kg)}$$

$$\times \text{PAL (LBM: 除脂肪量、PAL: 身体活動レベル)}$$

エネルギー・栄養素摂取量の構成を目標とするバランスに近づけるために、食品群別に何をどのくらい食べるかの目安になるものが食品構成である。食品構成の例を表2に示す⁸⁾。食品中に含まれる栄養成分の特徴によって分類したものが食品群であり、その種類は、エネルギー源となる穀類（主食）、筋肉や骨、血液の材料となる肉類、魚介類、卵類、豆類（主菜）、体調を整える緑黄色野菜、その他の野菜、藻類、きのこ類、いも類（副菜）、骨や歯を形成する乳類（牛乳・乳製品）、疲労回復に役立つ果実類（果物）

表1. 種目系分類身体活動レベル

（文献7）より引用

種目カテゴリー	期分け	
	オフトレーニング期	通常練習期
持久系	1.75	2.5
筋力・瞬発力系	1.75	2
球技系	1.75	2
その他	1.5	1.75

* 身体活動レベルとは、1日の消費エネルギー量が基礎代謝量の何倍にあたるかを示す数値

表2. エネルギー別食品構成（g）

（文献8）より引用

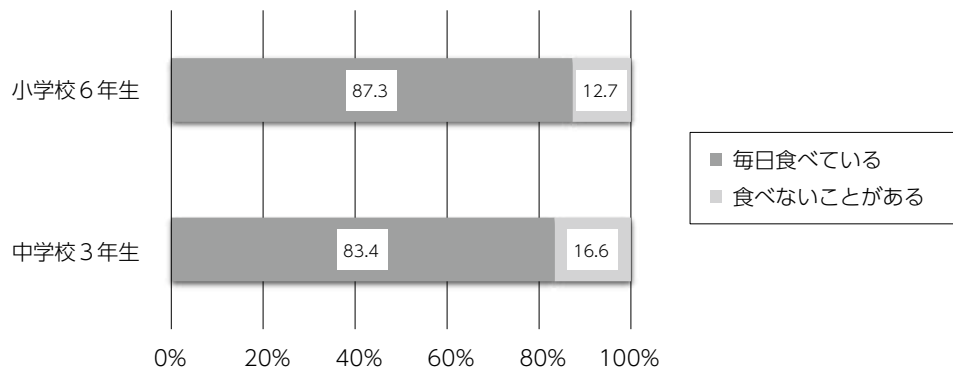
エネルギー (kcal)	穀類	肉類	魚介類	卵類	豆類	乳類	いも類	野菜類		藻類	きのこ類	果実類	砂糖類	油脂類
								緑黄色	その他					
4,500	650	180	80	100	120	800	100	150	250	4	15	250	30	55
3,500	520	130	70	70	100	600	100	150	250	4	15	200	25	40
2,500	350	80	60	50	100	500	80	150	200	4	15	200	15	20
1,600	240	50	40	50	60	250	70	150	200	4	15	150	8	12

などがある。食品構成は献立作成や食品選択の分量を決める目安となる。実際の献立に展開するには、主食、主菜、副菜、牛乳・乳製品、果物を揃えることで、必要な栄養素をおおむね摂取することができる。

IV. スポーツと食事摂取のタイミング

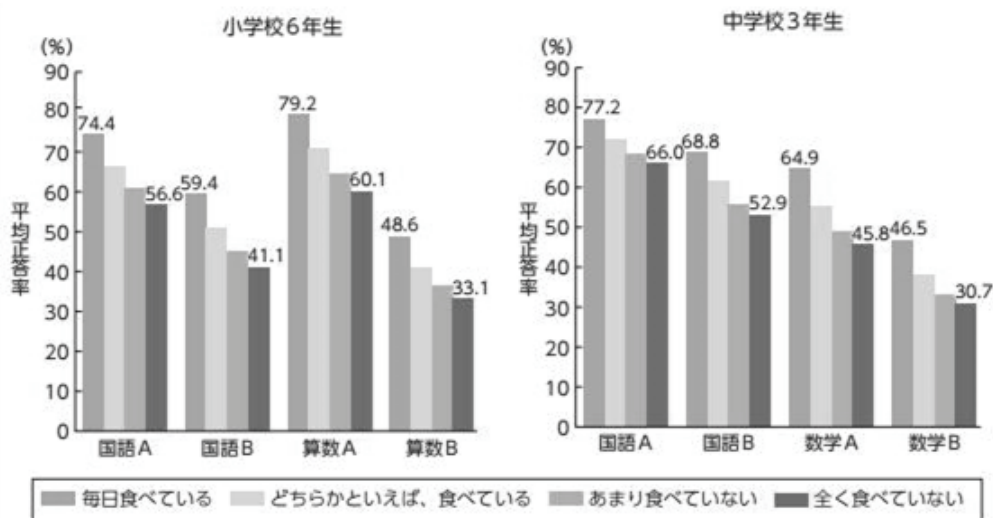
健康の保持・増進やトレーニングの効果を最大限に発揮するためには、運動と食事、そして休養・睡眠の3要素をタイミングよく配分することが重要だ。運動中の主なエネルギー源は血中のグルコース（血糖）と筋肉・肝臓に貯蔵されているグリコーゲンである。したがって食事をとらずに空腹状態での運動は好ましくない。特に朝、目覚めた直

後は低血糖、低体温の状態である。朝食の役割としては、睡眠中に下がった体温を上昇させ、体を活性化し、1日活動するエネルギー源であること、睡眠中も活動している脳へエネルギーを供給することである。朝食を欠食すると糖質エネルギーの供給が不十分となる。文部科学省が小学校6年生と中学校3年生を対象に実施した平成28（2016）年度「全国学力・学習状況調査」（以下「学力調査」）によると⁹⁾、子供の朝食摂取については、朝食を食べないことがある小・中学生の割合は、小学校6年生で12.7%、中学校3年生で16.6%となっている（図5）。また、毎日朝食を食べる子供ほど、学力調査の平均正答率が高い傾向がある（図6）。さらに、平成28（2016）年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると¹⁰⁾、毎日朝食を食べる子



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（平成28（2016）年度）

図5. 朝ごはんを食べないことがある小・中学生の割合



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」（平成28（2016）年度）

図6. 朝食摂取と学力調査の平均正答率との関係

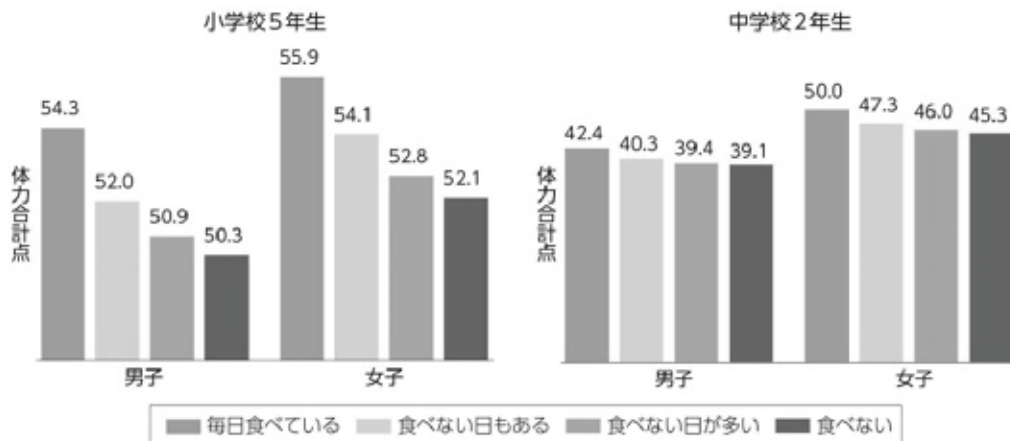
供ほど、体力合計点が高い傾向にあった（図7）。子供たちが健やかに成長していくためには、適切な運動、調和のとれた食事、十分な休養・睡眠が大切である。「よく体を動かし、よく食べ、よく眠る」という成長期の子供にとって当たり前で必要不可欠であるはずの基本的な生活習慣の乱れ、特に朝食の欠食は学習意欲や体力、気力の低下の要因の一つとして指摘されている¹¹⁾。

1日の終わりに食べる夕食は、運動によって損傷した筋肉の修復と疲労回復、また、翌日から活動するエネルギー補給の役割がある。筋肉の構成に関与する成長ホルモンは、強度の高い筋肉運動時と睡眠初期の深いノンレム睡眠時に分泌が亢進する¹²⁻¹³⁾（図8）。

したがって、運動直後の食事では、タンパク質の豊富な食事をとり、その後の十分な睡眠を組み合わせることで、運動で損傷した筋肉をすみやかに修復し、筋肉タンパク質

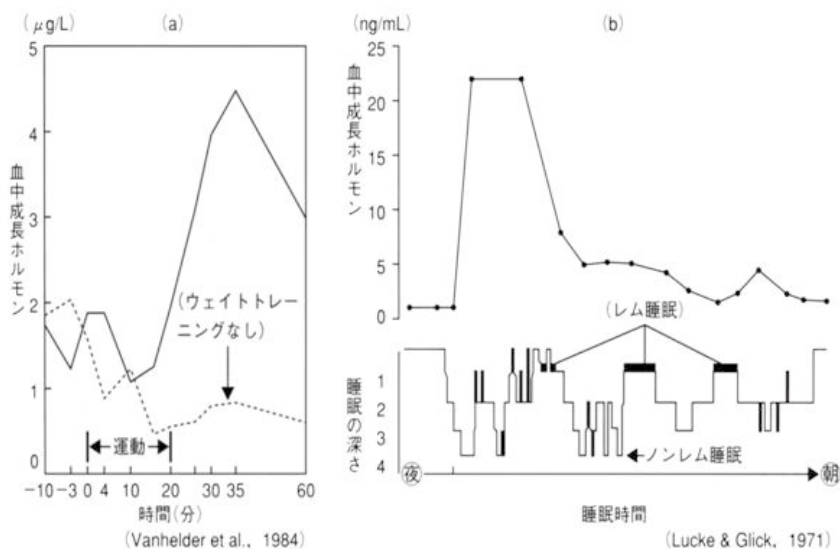
に合成を促すことができる。

運動前後にとる補食は朝、昼、夕の3食だけでは摂取できないエネルギーと栄養素を満たすための間食である。運動前はグリコーゲンを補給することが推奨されるが、これは競技中の集中力を高める役割もある。運動後では、運動によって枯渇したグリコーゲンの回復と筋肉の修復、疲労回復の促進の役割がある。補食を上手にとるための注意点としては、運動前はエネルギー源となる炭水化物の多い食品、運動後はタンパク質の多い食品を摂取すること、また、食事では補えきれないビタミン、ミネラルの豊富な食品の摂取が挙げられる。補食の時間は運動の1～2時間前、または運動直後にとると効果的である。量は運動と夕食に支障をきたさない程度とし、食事の主体はあくまでも朝食、昼食、夕食の3食を規則的にとることが基本である。



資料：スポーツ庁「全国学力・運動能力、運動習慣等調査」（平成28（2016）年度）

図7. 朝食の摂取状況と新体力テストの体力合計点との関係



文献12-13) より引用

図8. ウェイトトレーニング（a）と睡眠（b）の成長ホルモンの分泌

V. スポーツと栄養の今後の展開

「スポーツをする体は食事」からと言われるように、食事は身体活動の原動力であるにも関わらず、スポーツにおける科学的な栄養摂取を実際に実行に移している人々が多いとは言いがたい。その理由として、食事は運動・トレーニングほどに即効性がなく、栄養摂取の効果の評価が難しいことが挙げられる。しかし、2010年に策定された「スポーツ立国戦略」¹⁴⁾の影響もあってか「スポーツ栄養」という言葉がいろいろなところで見聞きされるようになり、子どもや高齢者だけでなく、アスリートやその指導者などにも「健康のためには、強くなるためには、運動・トレーニングのほか食事にも配慮する必要がある」と認識されるようになった。

「スポーツ立国戦略」の重点戦略の1つに「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」がある。子どもには、体力向上に向けたスポーツ機会の充実等の取組の推進、高齢者には体力づくり支援が盛り込まれている。また、「世界で競い合うトップアスリートの育成・強化」も戦略として掲げられている。

今後は、「スポーツ立国戦略」の目指す姿である「すべての人々にスポーツを！スポーツの楽しみ・感動を分かち、支え合う社会」の実現のために、スポーツにおける栄養の効果のエビデンスを構築していく必要があると考える。

員会 (2014): アスリートのための栄養・食事ガイド, 第一出版, 東京, p108-111

- 9) 文部科学省 (2017): 平成28 (2016) 年度「全国学力・学習状況調査」.
<http://www.nier.go.jp/16chousakekkahoukoku/>
(最終閲覧日2017年10月7日)
- 10) スポーツ庁 (2017): 平成28 (2016) 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」
http://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/kodomo/zencyo/1380529.htm
(最終閲覧日2017年10月7日)
- 11) 農林水産省 (2017): 平成28年度食育推進施策 (食育白書)
http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/attach/pdf/h28_index-8.pdf (最終閲覧日2017年10月9日)
- 12) Vanhelder, W.P., et al. (1984): Growth hormone responses during intermittent weight lifting exercise in men. *Enr. J. Appl. Physiol.* 53, p31-34
- 13) 鈴木正成. (1989): スポーツの栄養・食事学. 同文書院. p 88-90
- 14) 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課 (2010): スポーツ立国戦略
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm
(最終閲覧日: 2017年10月7日)

VI. 参考文献

- 1) 厚生労働省 (2000): 21世紀における国民健康作り運動 (健康日本21)
<http://www.kenkounippon21.gr.jp/>
(最終閲覧日2017年10月7日)
- 2) 厚生労働省 (2013): 21世紀における国民健康作り運動 (健康日本21第2次)
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kenkounippon21/kenkounippon21/ (最終閲覧日2017年10月7日)
- 3) 農林水産省 (2005): 食育基本法.
http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/pdf/kihonho_27911.pdf (最終閲覧日2017年10月7日)
- 4) 文部科学省 (2011): スポーツ基本法.
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm (最終閲覧日2017年10月7日)
- 5) 第一出版編集部 (編) (2014): 厚生労働省策定-日本人の食事摂取基準 [2015年版]. 第一出版, 東京
- 6) 公益社団法人日本体育協会 (2013): アスリートの栄養・食事. 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目Ⅲ, p 34-46
- 7) 小清水孝子ほか (2005): スポーツ選手の推定エネルギー必要量. *トレーニング科学* 17, p245-250
- 8) 公益社団法人日本体育協会 スポーツ医・科学専門委

一般社団法人
大分県スポーツ学会
第7回フォーラム

テーマ

スポーツと社会のかかわり
—スポーツの可能性をおおいに語り、考えてみよう！—

会 期 2017年6月24日（土）

会 場 別府ビーコンプラザ 中会議室

開催報告

山 田 雅 也
牧 健一郎

学術委員会

平成29年6月24日（土）に別府ビーコンプラザにおいて（一社）大分県スポーツ学会 第7回フォーラムを「スポーツと社会のかかわりースポーツの可能性をおおいに語り、考えてみようー」をテーマに、以下の内容で開催いたしました。

開催主旨としては、「スポーツと社会のかかわりは、もはや、切っても切り離せない状態になっている。スポーツの存在は社会にとって、ごく当然のことであるとともに、社会はスポーツに対しておおいなる期待を寄せている。そこで、指導者、行政、議員、大学教員にご登壇頂いた後に、総合討論の時間を設け、スポーツにはいかなる可能性が秘められているのか、おおいに語り合い、考えてみる機会を会員に提供し、参加者の見識を広げ学会活動の幅を広げる」とし、企画しました。

コーディネーター

山田 雅也（大分県薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会 担当理事）

牧 健一郎（理学療法士 / 日本体育協会アスレチックトレーナー）

登壇者

坂本 真啓氏（大分市スイミングスクール コーチ）

杉原 勉氏（別府市 観光戦略部 文化国際課 課長）

高松 大樹氏（大分市市議会議員）

竹田 隆行氏（日本文理大学 経営経済学部 スポーツビジネスコース 准教授）

中村 剛士氏（大分県 企画振興部 ラグビーワールドカップ2019推進室 室長）

総合討論では、多くの質疑が行われ有意義な時間が持てたことを感謝しております。様々な討論の中で、印象に残る一幕を紹介したいと思います。スポーツと社会とのかかわりという中での「スポーツと人づくり」という視点で、大分市スイミングスクールの坂本先生が「私は選手指導をしている立場なので、技術としてコーチングを習得しているが、コーチングの前のティーチングについて蔑ろにし過ぎている印象がある。いわゆる、しつけの部分保護者の方を含めてスポーツに頼っているのが危ないと思う。しつけは習慣なので、当然しつけされる側としては、最初は苦しいのですが、そこが本当の入り口なのだと思う。しっかりとしたしつけができる指導者が必要であることを共通認識として持つ必要があるのではないかと最近、体罰の問題等があるが、突き詰めるとしつけの仕方を知らないから、体罰を行うようになっていく。悪いことは悪いという指導、練習できている環境に感謝する、挨拶をする、当たり前のことをするという事の大切さをもう一度考えることが大事ではないか」のように発言されていました。実際に若い世代を多く指導している方の実体験からくる言葉なだけに、深く考えさせられるコメントでした。我が学会では、平成27年に「十代のコーチングを考える」というテーマで学術大会を開催しましたが、「ティーチングとしつけ」ということも、今後、取り上げていきたいと考えています。他の会員も、私とは異なる気づきを得たことと思います。それぞれが感じたことを、各々の立場で学会運営に活かして、大分県のスポーツ界に貢献していけると、フォーラム企画者としてはうれしい限りです。

プログラム

開会挨拶	13：30～
------	--------

登壇者発表	13：35～
-------	--------

コーディネーター

大分県薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会 担当理事 山田 雅也 氏
理学療法士 / 日本体育協会アスレチックトレーナー 牧 健一郎 氏

登壇者

スポーツと社会の関わり～スイミングスクールの取り組み～

大分市スイミングスクール コーチ 坂本 真啓 氏

大規模スポーツイベントを契機としたスポーツ・ツーリズムの取組

別府市 観光戦略部 文化国際課 課長 杉原 勉 氏

大分から世界へ

大分市議会議員 高松 大樹 氏

スポーツがもたらす経済的波及効果・精神的波及効果の実際

ー トリニータが県民にもたらす各種効果に焦点化してー

日本文理大学 経営経済学部 スポーツビジネスコース 准教授 竹田 隆行 氏

スポーツの成長産業化とラグビーワールドカップ2019

大分県 企画振興部 ラグビーワールドカップ2019推進室 室長 中村 剛士 氏

総合討論（質疑応答・意見交換）	15：30～
-----------------	--------

閉会挨拶	16：30～
------	--------

登壇者発表



スポーツと社会の関わり ～スイミングスクールの取り組み～

さか もと まさ ひろ
坂 本 真 啓

大分市スイミングスクールコーチ
日本水泳連盟、日本体育協会公認コーチ
大分県競泳強化コーチ

皆様はじめて。大分市スイミングスクールの坂本です。この度は大分県スポーツ学会の学会誌ができるということで記念すべき創刊号に寄稿させていただける機会をいただき誠に感激しております。大分県スポーツ学会の今後のさらなる発展を心から願っております。

私は普段スイミングスクールに勤務しながら主に選手の指導、幼児指導から高齢者の水中ウォーキングなども行っております。その中で日々直面する現状、当社が取り組んでいる課題をご紹介させていただこうと思います。

子供の体力低下、運動離れの正体

子供の体力低下が叫ばれてずいぶん経ちますが、現場レベルで子供たちの体力が落ちていると感じることは実はありません。実際に競泳の全国大会の参加標準記録（前年度20位の記録）は毎年すごい勢いで向上しています。ですが、子供たちが競技としてスポーツに取り組む意識は年々減少してきているのを肌で感じます。

実際に大分県の競泳競技の競技者登録人口は毎年減少しています。「すごく上手に泳げるようになったから水泳の大会に出てみない？」と声をかけても「負けるのが嫌」や「競争嫌い」という言葉が出てきます。本来スポーツとは『楽しい』ものであるはずなのに…またスポーツの『楽しい』は『出来た』という小さな成功体験の積み重ねです。現場で今感じるのは子供たちの体力低下ではなく成功体験をする機会の減少。スポーツ＝競争という概念の固定化。それらが引き起こす経験格差の拡大です。

機会の創造

そこで私たちは子供達が競技スポーツ以外で

- ①体を動かす楽しさを感じる機会
- ②運動有能感を得る機会
- ③内的動機付けを得る機会

これらを経験できる機会を作ることをテーマに様々な取り組みを行ってきました。



ライフセービング教室

2016年の夏、大分ライフセービングクラブ様の御協力のもとジュニアライフセービング教室を開催いたしました。スイミングに通う子供達の強みとして何と言っても『泳げる』という絶対的なスキルがあります。

これを競技以外に生かす知識とスキルを身につけることで自分の習得したものが人（社会）の役に立つことができるという自己有能感に繋げるのがこのイベントの狙いでした。参加した20人中5人がもっと泳げるようになりたいと選手コースに加入したのは企画した自分達も驚きでした。

高齢者の運動機会の創造

高齢者の運動意識は年々高まっていると感じます。ですが、実情を見ると交通手段がないため運動をしたくても出来ないという方々がまだまだ多い。大分県では車に乗れるかどうか運動機会のみならず人と接する頻度に大きく関わってきます。こういった声を受けてスイミングのスクールバスを利用してスクールへの送迎だけでなく、定期的に遠方に出向くイベントを企画することで外出機会を増やす試みを行っています。

水中ウォーキングを通して

高齢者でも気軽に安全に行える運動として水中ウォーキングがあげられます。学会誌ということで水中ウォーキングに関して少し踏み込んだ内容の話をしようと思います。水中ウォーキングは水圧を利用して関節への負担を軽減させ、筋肉への負担を和らげることができます。

水中という環境下では筋肉のミルキングアクションに水圧の動きも加わり、静脈還流が促進されます。プールに浸かっている状態では胸郭は肋骨に覆われているためつぶれにくいのですが、腹部は水圧の影響を受けて横隔膜を押し上げるので呼吸筋群の活動が活発になります。いいところばかりのように聞こえますが、水中であるが故のデメリットも当然あります。水圧下では血管が圧迫されて筋血流障害や血圧上昇の可能性があります。

また水中での運動はそのほとんどが等速性筋収縮（アイソキネティック）です。これはよく言えば負担が少ないと言えますが、悪く言えば筋肉へ負担をかけるのが非常に難しい（オーバーロードをかけるのが難しい）ということになります。

水中ウォーキングをされる方が最初におっしゃるのが『足の筋肉をつけて歩けるようになりたい』

実は水中という環境はこの筋量を増やすということが工夫を要する環境と言えます。



水中ウォーキングで筋肉へ負荷をかけたいならば、動作の速度を漸進的に向上させる必要があります。歩く速度を速くして、動作にリズムを持たせるなどの工夫をしながら心拍数で運動強度を設定していくというやりかたを取っています。

もう一つ水中ウォーキングの大きな利点は会話をしながらできる運動であることだと思っています。運動強度を上げていったとしても移動速度自体が速くなるわけではないので（たまにすごく早く歩ける方もいますが）基本的に会話を楽しみながら運動できます。楽しく会話をしながら行う運動は一人で黙々で行う運動よりもはるかに運動効果が高いです。これも水中ウォーキングの隠れた魅力の一つなのではないかと思います。

水中という環境は工夫次第で幾千ものバリエーションに富んだ楽しいアクティビティを可能にします。どうでしょう…少しプールに行ってみたくありませんか？

これを読んで一人でも多くの方がプールに足を運んでいただければ僕は幸せです。

登壇者発表



大規模スポーツイベントを契機とした スポーツ・ツーリズムの取組

杉 原 勉

別府市観光戦略部 文化国際課長

1 はじめに

別府市では、これまでプロ野球やJリーグなどのキャンプや選手のメディカルチェック等を受け入れてきた。ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、2年前からは国立病院機構西別

府病院及び日本体育大学と連携の下、日本を代表する監督・選手をお招きし、日本一の源泉数・湧出量を誇る別府温泉を活用したメディカルスポーツ・ツーリズムの取組を推進している。

2 昨年秋から冬にかけて来別した指導者や選手



佐々木則夫氏：右から2番目



吉井理人氏：左から3番目



なでしこジャパンの4選手



SBホークス内川選手ほか



日体大 清原名誉教授



日体大 田中理恵助教

3 ラグビーワールドカップ2019日本大会に向けた施設の整備

2019年に国内12会場で開催されるラグビーワールドカップでは、大分銀行ドームが大会会場の一つに選定されている。西日本地区では、最大の観客席（40,000人）を有する同会場では、予選リーグはもちろん、決勝トーナメントや世界強豪

チームの試合の開催も期待される。そのため、別府市では天然芝生化、夜間照明施設の設置、駐車場の拡張など実相寺多目的グラウンドを整備し、試合前にチームが使用する公認チームキャンプ地の候補地に登録申請している。



実相寺多目的グラウンド完成予想図



べっぴアリーナ・市民プール

4 RWC2019公認チームキャンプ地の可能性

(1) 知名度の向上

- ①公認チームキャンプ地となった自治体はキャンプ地のロゴや大会名称を使用したPR活動を行うことができる。
- ②国内外を問わずメディアやラグビーファンを通じて自治体の魅力や情報などが発信されることにより、自治体の知名度向上に大きく寄与する。

(2) 国際スポーツ大会のキャンプ地としての実績

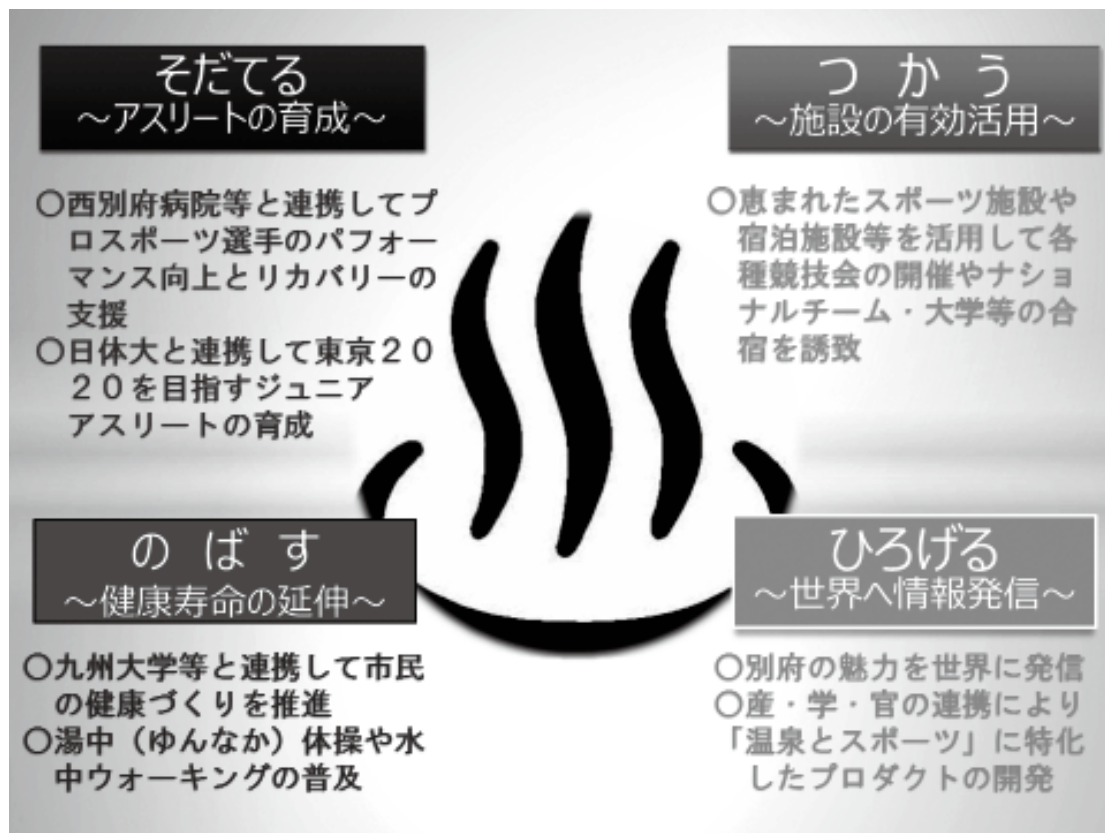
- ①世界3大スポーツイベントであるラグビーワールドカップの公認チームキャンプ地となることで、国際レベルのスポーツ施設等を有する自治体として認識される。

- ②今後ラグビーに限らず様々なスポーツの国際大会と連携できる可能性が広がる。

(3) 国際交流の推進

- ①公認チームキャンプ地に滞在するチームとラグビーを通じた国際交流を行うことで、大会終了後も長期にわたる国際交流のきっかけを作ることができる。
- ②年間約40万人を超える外国人観光客が訪れ、また、90を超える国と地域から約3,000名の留学生が暮らす本市において、選手や試合の観戦に訪れる観光客と市民との交流機会を創出することができる。

5 これからのスポーツビジョン



6 別府ONSENアカデミアの開催

別府市では、温泉に入浴することがスポーツの競技力の向上や疲労回復に与える効果について、競輪、陸上、サッカーなどの各選手ら約30人を対象に調査している。基本的な調査メニューは2週間で、1週目は普段通りアスリートとして生活し、2週目は練習後に市内の温泉に毎日入って

もらう。参加者は手首に端末機を巻きつけ、消費カロリー、睡眠の深さ、筋肉量等を24時間モニタリングしてデータを集め、収集したデータを西別府病院スポーツ医学センターが解析する。調査結果は、11月25・26日に開催する第2回別府ONSENアカデミアの中で松田センター長が発表する。

登壇者発表



大分から世界へ

たか まつ だい き
高 松 大 樹

大分市議会議員

「大分から世界へ」ということで、私がサッカーを通じてオリンピック出場や日本代表チームなどで経験したこと、あるいは多くの海外遠征で感じたことをお話したいと思います。

私は山口県宇部市で生まれました。そして、この街で小学校から高校まで過ごしました。小学校3年生から岬サッカー少年団というクラブでサッカーを始めました。この時期にサッカーに夢中になり、嵌（はま）りました。そして常盤中学でもサッカーを続けました。トレセン（地域選抜選手）などでは、小学校の頃は一度も選ばれたことがなく、中学2年生の時に初めて山口県選抜に選ばれて中国地方の大会に出て各県選抜チームと試合を行いました。この時に山口県では多少は目につく存在となり、当時全国高校サッカー選手権に連続出場していた多々良学園高校（現在の高山学園高校）から誘いもあり、進学しました。

高校では監督が住んでいる寮で生活をしました。この時に、私生活から部活動、学校生活と、様々な面で鍛えられました。1年生の頃は6時に起きて朝食の準備を行ったり、上級生の面倒をみたりと大変でした。しかし、幸運にも1年生から試合出場する機会を得ることができました。そして1年生から3年生まで山口県代表として全国高校サッカー選手権大会に出場できました。そして、3年生の時には欧州遠征の優秀選手に選ばれました。

高校2年生の時にJリーグの指定選手になり、月に1回は隣の広島県のJクラブであるサンフレッチェ広島の練習に参加することになりました。当時の広島には日本代表の久保竜彦選手（FW）などが在籍しており、ボール回しなどではまったくボールに触らせてもらえずに、プロの力をまざまざと見せつけられ、プロの力を肌で感じました。

またこの時、サンフレッチェ広島の寮では栄養効果のあ

る食事に、規則正しいプロ生活を生で見て、サッカー人生の中で、とても刺激を受けました。そして何度かサンフレッチェ広島へ通う内に、私の心の中に「プロになろう」という心のスイッチが入りました。広島を希望したのですが、当時広島には森崎兄弟や駒野などU17日本代表に選ばれている若い選手が多く入り、入る事はできませんでした。しかし、私には大分からオファーがありました。

プロになるならどこでもと思い、2000年に大分に入りました。当時は、この先プロでどこまで持つか、2～3年か？とも思いました（笑）。まさか17年間もプロ生活を送るとは思いませんでした。

最初の監督は石崎監督でした。毎日がハードな練習で2部練習は当たり前で、とてもよく鍛えられました。その後の小林監督にも鍛えられて、プロ選手として今の自分があるのは石崎・小林両監督の影響がとても大きいように思います。小林監督になってチームが徐々に若返り始め、自分にも出番が回ってきました。そしてチームは2002年のJ1昇格、2003年からはアテネオリンピック代表候補にもなり、海外遠征も増えていきました。

初めての海外遠征はエジプトでした。アフリカ勢はフィジカルだけかと思いましたが足元も上手なのにビックリしました。それからアテネの本大会までに韓国、ポーランド、イタリアなど数々の海外遠征を経験しました。このオリンピックチームでは外国チーム相手にかなり得点しました。そのおかげで、大分トリニータとしては初めてのオリンピック代表に選ばれました。

アテネオリンピックでは最初にイタリアと闘いました。当時のイタリアチームには後にイタリア代表の軸となる世界的な名選手のピルロ選手（MF）などもいました。予選ではパラグアイに3対4、イタリアに2対3、ガーナに1対0で1勝2敗。予選リーグで敗退してとても悔しい思いをしました。オリンピックが終わってから、オシム監督率

いる日本代表にも何度か呼ばれました。大分であったキリンカップなどに出場できたのはとても良い思い出です。

また、大分であった当時のオールスター戦にも出場できて、ゴン中山選手、中澤選手、現日本代表主将の長谷部選手などとも闘えたのも、とても記憶に残っています。

大分では2005年途中からシャムスカ監督が指揮をとるようになりました。そして2008年ナビスコカップ優勝！ナビスコカップ優勝は最高の思い出です。

2000年～2016年までの17年間の選手生活、Jリーグ出場試合数360試合、得点75得点。まさか大分に入った時に、ここまでやれるとは夢にも思いませんでした。多くの方々に支えられて、可能になったのだと、感謝の心で一杯です。

以上、私のサッカー人生を通じて経験した事を振り返ると、…世界で闘うには、大きな夢を持ち、1、強い気持ちで闘うこと（チャレンジして、失敗を恐れるな）。2、自分に巡ってきた運を掴むこと。3、自分の武器を持って…が、とても大事だと思います。そして、私自身も、この思いを忘れず、これからは大分市市議として、スポーツを取り巻く環境の整備や組織作りに、力を尽くしていきたいと考えています。

登壇者発表



スポーツがもたらす 経済的波及効果・精神的波及効果の実際 ー トリニータが県民にもたらす各種効果に焦点化してー

竹 田 隆 行

日本文理大学 経営経済学部 スポーツビジネスコース 准教授

わが国でスポーツビジネスが注目され始めたのは1980年代である。スポーツ産業、スポーツマーケティングなどの言葉が使用されるようになったのもこの時期である。通商産業省（現経済産業省）は、今後スポーツ産業が我が国の基幹産業になると期待した。21世紀のスポーツ産業の指針とした調査報告書「スポーツビジョン21」（1990年）を作成した。

スポーツがビジネスになると世界に知らしめたロサンゼルスオリンピック（1984年）は、2億5000万ドルもの黒字を生み出した。現在のオリンピックをはじめとする世界のビッグスポーツ大会は、1984年のロサンゼルスオリンピックがビジネスモデルになっている。ロサンゼルスオリンピックの大成功により、スポーツの経済波及効果が注目されるようになった。わが国で開催される2019年のラグビーワールドカップ大会、2020年の東京オリンピックは開催だけでなく経済波及効果が大きいと期待されている。

ラグビーワールドカップ大会の経済波及効果は、2,330億円と（株）日本政策投資銀行から発表が行われた。東京オリンピックの経済波及効果は、東京で約20兆円、全国で約32兆円（2013年から2030年まで）と、オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部調整課が発表を行った。スポーツ経済波及効果は世界規模の大会だけでなく、プロ野球のリーグや球団、プロサッカーのリーグやクラブにおいても経済波及効果が問われるようになった。

地元のJクラブである大分トリニータにおいても、その経済波及効果が報告されている。2006年の大分トリニータのホームゲーム開催による経済波及効果は23.5億円と報告された（大分大学：深道・森、大分県企画振興部統計調査課）。2012年の大分トリニータ（J2）のホームゲーム開催による経済波及効果は11億円、J1に昇格した場合の経済波及効果は約20億円～16億円と報告された（大分大学：下田、大分県企画振興部統計調査課）。

今や、スポーツの効果＝経済波及効果と言っても過言ではないと思われる。しかし、その流れにIOC（国際オリンピ

ク委員会）が警鐘を鳴らし始めた。それが、オリンピック・レガシーである。IOCは、オリンピック競技大会のよい遺産（レガシー）を、開催都市ならびに開催国に残すことを推進すると声明を出した。IOCは、オリンピック・レガシーの分野としてスポーツ、社会、環境、都市、経済の5分野を挙げている。さらに、レガシーを理解する上で3つの軸を提唱している。それが、①ポジティブなものか、ネガティブなものか、②有形のものか、無形のものか、③あらかじめ計画したものか、偶発的なものかという軸である。

残念なことに、この3つの軸を忘れて経済波及効果のみを求めると当然ながら、オリンピック競技大会のよい遺産（レガシー）を、開催都市ならびに開催国に残すことはできない。しかしながら、東京オリンピックのスポーツ施設の新築ラッシュを見ていると負の遺産として残るような気がしてならない。世界的なスポーツイベントを行うためには大規模な施設は必要であるが、国内リーグや日常のスポーツ施設としては必要がない。また、施設の管理運営費は初期投資の2倍はかかると言われている（早稲田大学：間野、スポーツ産業論第5版）。新国立競技場の収入に期待されているのはスポーツイベントではなく、大規模なコンサート開催なのである。

スポーツイベントによる短期的に効果を求めるのではなく、長期的に大きな効果、強い効果を考えるべきである。スポーツ活動は、健康の維持増進に寄与すると言われている。企業で働く職員が健康であれば、欠勤、およびミスが少なくなり生産性も上がるのではなかろうか。また、企業の生産性だけでなく、生活する人が健康であれば医療費の抑制にもつながると考えられる。

そして、最近注目されているのがソーシャル・キャピタルである。ソーシャル・キャピタルとは、「社会関係資本」と訳される。アメリカの政治学者パットナムによると、「ソーシャル・キャピタル」とは、ネットワーク、規範、信頼などが持つ社会生活上の特徴を示すとされている。コミュニティの希薄化によって地域のつながりが薄くなった

地域社会では、ソーシャル・キャピタルが注目されている。ソーシャル・キャピタルの醸成により、社会的なつながり、あるいは豊かな人間関係の構築によって、地域の教育力が上がった、青少年の非行の減少など、市民活動の好循環によって得られた報告が見られる。

スポーツがソーシャル・キャピタルの醸成に貢献できるのではないかと期待されている。その理由は、する、みる、ささえるといったスポーツ活動は、なんらかの形で人とのかかわりを持つ。特にプロスポーツは、上記にあげたすべての要素を含んでおり、大分トリニータにはソーシャル・キャピタルの醸成を果たす地域装置として機能する可能性がある。選手に憧れスポーツをはじめ、応援する、支える、それらの活動が人々のかかわりを強くする。そのかかわりが地域の活力につながり、経済にも反映されていくであろう。

ソーシャル・キャピタルの醸成には時間がかかるため、効果が出る前にやめてしまった取り組みも見られる。しかしながら、大分トリニータは、県民、行政、スポンサー企業に支えられた地域のクラブである。クラブが存在する以上、ソーシャル・キャピタルを醸成する装置として機能していく。そのためには、大分トリニータが地域のシンボリックな輝きを保たなければならない。試合に勝つことも重要な要素ではあるが、ロールモデルとして存在することが最もクラブには重要なことである。ロールモデルとは、自分にとって、具体的な行動や考え方の模範となる人物のことを意味する。人は誰でも無意識のうちにあの人のようになりたいというロールモデルを選び、その影響を受けながら成長する（人事労務用語辞典）。つまり、クラブ、選手が社会の規範とならなければならないのである。

スポーツの効果として、経済波及効果に注目されがちであるが、実はスポーツを通じて、社会の規範やルールといった倫理的・道徳的価値を学ぶことが、人や地域社会を豊かにする効果を忘れてはならない。改めて、スポーツの価値を考察する時が来たのかもしれない。

登壇者発表



スポーツの成長産業化と ラグビーワールドカップ2019

中 村 剛 士

大分県ラグビーワールドカップ2019推進室長

1. スポーツの社会的意義

(1) 競技者におけるスポーツの意義

ラグビーでは、WORLD RUGBYの『ラグビー憲章 (Playing Charter)』において、品位 (INTEGRITY)、情熱 (PASSION)、結束 (SOLIDARITY)、規律 (DISCIPLINE)、尊重 (RESPECT) の5つの原則が掲げられている。また、国内では、“one for all, all for one (1人はみんなのために、みんなは1人のために)” や “noside (試合が終われば敵味方無し)” といったフレーズが合言葉として使われている。

こうした価値観は、フェアプレーを担保するために求められるとともに、翻って、競技を通じた人格形成に資するラグビーの特長とされている。

(2) 大分県政とスポーツ

大分県政は、長期総合計画『安心・活力・発展プラン』で安心、活力、発展のすべての分野で政策が掲げられているなど、幅広くスポーツと関わりを有している【図1】。

(3) 国成長戦略とスポーツ (スポーツの成長産業化)

安倍政権は、「三本の矢」に続く「新三本の矢」において、名目GDPを500兆円から戦後最大の600兆円に拡大することを目指している。『未来投資戦略』(H29.6.9閣議決定、旧『日本再興戦略』)では、そのための具体的施策「官民戦略プロジェクト10」の1つとして「スポーツの成長産業化」が掲げられ、スポーツ産業の市場規模を2025年までに15兆円(現在5.5兆円)に拡大することが目標とされている。

なお、日本とアメリカのプロスポーツリーグの収入規模の差は、この10年間で広がってきたものであり、日本のスポーツビジネスの伸びしろを示しているとも見ることもできるのではないかと。

このように、スポーツは競技者にとって有意義であるとともに、大分県政とも広く関わりを有しており、近年では、政権の最重要施策である成長戦略の一翼も担うなど、スポーツの社会における意義は益々高まっている。

2. ラグビーワールドカップ (RWC) 2019

(1) 概要

2019(平成31)年に開催されるRWC2019は、スポーツビジネスに期待が集まる社会情勢を捉え、地域経済の活性化を図るための絶好の機会である。

アジア初の開催となるRWC2019は、2019年9月20日から11月2日まで全国12会場で開催される。特に、九州には、大分、福岡、熊本の3会場があり、誘客の観点から相乗効果が見込まれる。大分では、西日本最大規模の大分スポーツ公園総合競技場でのグレードの高い試合の開催や県内4箇所での公認チームキャンプ地の受入実現が期待されている。

(2) 大会を楽しむことが経済効果に直結

2015(平成27)年のイングランド大会では、247万枚のチケットが販売され、40万人超の海外観戦客が平均14日間滞在し、大会の経済効果(波及効果を含む。)は3,000億円超(推計)に上った。特に、直接経済効果の74%を観戦客の宿泊・飲食費、買い物費、レジャー費が占め、大会を楽しむことが経済効果に直結したことに注目する必要がある【図2】。

なお、RWC2019では、全国で、160~200万人の観戦客(うち海外観戦客40万人)を見込み、経済効果(波及効果を含む。)は2,330~4,200億円と推計されている。大分でも、1試合当たり、4万人の観戦客(うち約1万人は従来インバウンド受入実績の少ない欧米豪からの海外観戦客)が来訪し、20億円の直接経済効果を見込んでいる。

(3) ラグビーワールドカップ2019大分県推進委員会の取組

県では、RWC2019大分開催を成功させるため、全県挙げた体制(RWC2019大分県推進委員会)で、大会の機運醸成や開催準備に取り組んできた。

平成28年度は、ジャパンラグビートップリーグ(H28.10.16@大分銀行ドーム)で全国5番目となる10,514人の誘客を実現したほか、ラグビー発祥の英国・ラグビー校や強豪NZロトルアの高校生と県内高校生との交流試合を行うなどし、県内各地のPRイベントにのべ3万人超の

参加を得た。こうした取組の結果、大分は、12開催地のなかでRWC2019開催認知度がトップとなるなど、一定の手に応えも出始めている。

今年秋には、いよいよRWC2019の試合日程が決まり、大分で開催される試合の対戦カードや日時が明らかになることから、更なる機運醸成と開催準備に力を入れていくこととしている。

(4) 2018年おおいの大茶会、2020TOKYO、そしてレガシー

大分では、2018（平成30）年に国民文化祭・全国障害者芸術文化祭「おおいの大茶会」を開催し、県内各地で誘客の仕組づくり（カルチャーツーリズム）も進められる。これに続くRWC2019、2020年の東京オリンピック・パラリンピックといった大規模イベントを通じて、大分に確固たるレガシーを遺すことが求められている。

スポーツと大分県政	
○大分県長期総合計画『安心・活力・発展プラン2015』	
分野	スポーツ関連項目
安心	・豊の国ねりんピックによる高齢者の生きがいづくりと健康づくり ・障害者スポーツの振興（大分県いすまろん大会等）
活力	・RWC2019等による海外からの観光客の増加に対応した観光産業の振興 ・RWC2019、2020年東京オリパラを契機とした世界への情報発信 ・RWC2019、2020年東京オリパラに向けた文化プログラム展開の支援 ・スポーツツーリズムへの対応促進 ・国際スポーツ大会の誘致、大規模スポーツ大会の支援強化 ・国際交流ボランティア活動の促進 ・国際スポーツ大会のキャンプ誘致国等との交流を通じた地域振興の推進
発展	・県民スポーツの推進（生涯スポーツ、観戦・ボランティアの促進、指導者養成等） ・世界に羽ばたく選手の育成 ・スポーツによる地域の元気づくり（RWC2019の開催・成功 等）

【図1】スポーツと大分県政

ラグビーワールドカップ2015の成果（実績）	
○ チケット販売枚数：247万枚（発行枚数の98%）、テレビ視聴者：40億人	
チケット販売枚数 (①+②+③)	2,478,000枚
①地元ファン	668,000枚(27.0%)
②国内観戦客	1,036,000枚(41.8%)
③海外観戦客	774,000枚(31.2%)
○ 海外観戦客（推定）：40万6千人 ○ 平均滞在日数：14日間 ○ 消費額：総計9億5,800万ポンド（＝1,293億円） ○ 一人当たり消費額：2,400ポンド（＝約324,000円）	
海外からの観戦客 (④+⑤+⑥+⑦)	40万6,000人
④欧州	28万4,000人(うちイングランドを除く(英国:9万6,000人))
⑤オーストラリア等	3万9,000人
⑥アフリカ	1万人
⑦その他	7万4,000人
○ 経済効果（直接+波及）：22億6,700万ポンド（＝3,060億円）	
経済効果 (⑧+⑨+⑩)	22億6,700万ポンド (3,060億円)
⑧直接効果(大会準備・運営、観客消費)	8億5,500万ポンド
⑨間接効果(原材料購入等の効果)	6億6,500万ポンド
⑩波及効果(雇用者所得増加の効果)	7億4,700万ポンド
✓ ラグビーワールドカップの海外からの観戦客は、比較的高消費が多い 【訪日外国人の平均支出額(観光庁「H27 訪日外国人の消費動向」)】 ・訪日外国人全体:176,167円/人・回 ・英国訪日客:210,681円/人・回 ・豪州訪日客:231,349円/人・回 ✓ また、試合間隔が1週間程度で観戦客の滞在日数も長くなる傾向 ✓ 高消費のインバウンド受入のソフト面・ハード面のノウハウを身につけ、将来にわたってインバウンド獲得につなげていく好機	
✓ うち74% (6億3,300万ポンド) が観客の宿泊・飲食費、買い物費、レジャー費	

【図2】ラグビーワールドカップ2015の成果

スポーツ救護講習会 メディカルマネージャー養成講習会

平成 29 年度 一般社団法人 大分県スポーツ学会認定スポーツ救護講習会 第 8 期

月 日	曜日	時 間	内 容	講 師
公開 (8 期) 4 月	8 期 4/23(日)	9:00～	受付	大分県スポーツ学会 事務局
		9:30～9:45	オリエンテーション	大分県スポーツ学会副事務局長 栗秋 良子
		9:50～10:00	開講式・スタッフ紹介	大分県スポーツ学会顧問・敬和会統括院長 森 照明
		10:00～10:30	健康スポーツ学総論	大分県立看護科学大学 教授 稲垣 敦
		10:30～11:15	スポーツ救護・小処置	大分県スポーツ学会顧問・敬和会統括院長 森 照明
		11:15～12:00	昼休み・認定用写真撮影	
		12:00～12:20	<<会場 設営>>	
		12:30～17:00	スポーツ救命救急 講義・実技 検定試験	日本赤十字社 指導員（4 名） ＜日本赤十字基礎救講習＞ 1 次救急 BLS、AED の取扱い
公開 (8 期) 5 月	8 期 5/21(日)	9:00～	受付	大分県スポーツ学会 事務局
		9:40～9:55	スポーツ熱中症 (解剖学)	大分医学技術専門学校 校長 島田 達生
		10:15～11:15	(総論 ・ 各論 ・)	九州総合スポーツカレッジ 小椋 一慶
		11:15～11:45	スポーツ栄養学	別府大学食物栄養学科教授(元ホークス管理栄養士)平川史子
		11:45～12:15	スポーツ薬学(アンチドーピング)	大分県薬剤師会ドーピング防止委員長 山田 雅也
		12:15～13:00	昼休み・認定用写真撮影	
		13:00～14:00	スポーツと内科疾患(呼吸器・心疾患)	西別府病院 循環器内科部長 天田 浩司
		14:00～14:30	スポーツ歯科学	西別府病院 歯科部長 保科 早苗
		14:30～14:50	<<会場 設営>>	
		14:50～17:00	スポーツと運動器疾患(骨・関節外傷・ 講義・実技 傷害、切創・挫傷・擦過傷) テーピングの方法(実技・予防)	大分県理学療法士協会事務局 スポーツ事業部 副部長 (大分県スポーツ学会メディカルマネージャー事務局) 牧 健一郎
公開 (8 期) 6 月	8 期 6/18(日)	9:00～	受付	大分県スポーツ学会 事務局
		9:45～10:00	認定の諸説明	大分県スポーツ学会 事務局長 佐藤 浩二
		10:00～11:30	スポーツ頭部外傷(10 カ条の提言) (脳振盪、意識障害の診方と処置)	大分県スポーツ学会顧問・敬和会統括院長 森 照明
		11:30～12:15	昼休み	
		12:15～13:15	小児救急概論(子ども外傷の診方)	大分厚生連鶴見病院 副院長 鈴木 正義
		13:15～14:45	① スポーツ障害 ② スポーツ外傷	大場整形外科 院長 大場 俊二
		14:45～15:00	試験対策	森 照明 ・ 大場 俊二 ・ 栗秋 良子
		15:00～15:30	閉講式(修了証 授与式)	大分県スポーツ学会顧問・敬和会統括院長 森 照明
		15:40～16:40	スポーツ救護 認定試験・審査会 筆記 実技試験合格者:(認定希望者のみ実施)	大分県スポーツ学会理事・役員

○メディカルマネージャーとは

スポーツ障害防止のために、選手の健康管理や指導者のサポートを行う人のことです。
また、医療サイド（ドクター・トレーナー）との橋渡しをします。
選手の健康管理を行うために具体的な内容として、ヘルスチェックシートと外傷・障害レポートの入力・管理をします。
対象としてコーチや保護者、選手、マネージャー、医療従事者など幅広い方が取得できるものになっています。

○主旨

スポーツ活動において、医・科学の知識や情報の欠如、あるいは誤った認識によりスポーツ外傷・障害が多く発生しており、その対処が求められています。
現在では、日本代表やトレセン、いくつかのチームにはトレーナーがいますが、多くのチームは、トレーナーがいないのが現状です。
そこで、スポーツ障害の防止のために、スポーツ医科学の正しい知識を身につけ、選手の健康管理やスポーツ現場での対応を行うメディカルマネージャーの育成を行っています。

○メディカルマネージャーになるためには

現在、(NPO) 日本メディカルマネージャー協会主催のメディカルマネージャー養成講習会と(一社) 大分県スポーツ学会主催のスポーツ救護講習会にて受講できます。
認定を受けるためには、上記の講習会を受け、実際にチームでヘルスチェックシート、インジャリーレポートの作成を行い、選手の健康管理を行います。

○チームケアシステム

メディカルマネージャーは、チームの健康状態や怪我の状況を把握するために、ヘルスチェックシートとインジャリーレポートの作成を行います。
従来は紙ベースで行っていたが、現在は電子化へ移行し、入力の簡易化やデータの蓄積など有意義な内容が多々盛り込まれています。



メディカルマネージャー 養成講習会

成長期のスポーツ選手から傷害を減らしましょう！！

2017年

7月17日 月

17:00-19:00

受付開始 (16:30~)

場 所 : ホルトホール大分2F セミナールームL・S

受講費用 : 2000円 (入会費:2000円)

第1部

17:00~18:00

「メディカルマネージャーとは」

講師：大場俊二（大場整形外科）

第2部

18:00~19:00

「ヘルスチェック・インジャリーレポートの使い方」

講師：牧健一郎（大場整形外科）

主催（NPO）日本メディカルマネージャー協会

主管（一社）大分県スポーツ学会

ご予約
お問い合わせ

日本メディカルマネージャー事務局 大分支部
(大場整形外科)

TEL: 097-556-1311

一般社団法人
大分県スポーツ学会
第9回学術大会

大会長 高橋 隆一（（公社）大分県理学療法士協会 理事 / 社会局 局長）

会 期 2017年12月3日（日）

会 場 大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネス

ごあいさつ



一般社団法人 大分県スポーツ学会 理事長
稲垣 敦 (大分県立看護科学大学 教授)

大分県スポーツ学会第9回学術大会を平成29年12月3日（日）に大分県消費生活・男女共同参画プラザ アイネスで開催するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当学会は、スポーツに関する知識と技術の研鑽を積み、会員相互の情報交換を通じて、大分県における健全なる青少年の育成とスポーツの人材育成を図ると共に、県民の体力向上、健康増進、スポーツ文化の醸成に寄与することを目的として平成22年の春に設立されました。

今回の第9回学術大会のメインテーマは、「スポーツ選手を成功に導くためのアントラージュ」です。Entourageとは、フランス語で取り巻き、環境という意味で、スポーツの世界では競技環境を整備し、アスリートがパフォーマンスを最大限発揮できるように連携協力する関係者を指しています。平成25年からJOCはアントラージュ部会を立ち上げ、選手の環境、健康、倫理、関係者の連携と教育・研修を担当して活動しています。当学会の趣旨は、選手や指導者も含め、様々な形でスポーツに関わる人々が一同に会して、大分のスポーツについて語り、議論することであり、正にこのアントラージュを育成することと言っても過言ではありません。当学会の理事を務める大分県作業療法協会事務局長の高橋隆一大会長には、当学会に相応しい先進的なテーマをつけて頂き、心より感謝申し上げます。当学会もアントラージュ育成の一環として、機関誌「スポーツおおいた」を創刊いたしました。参加者の皆様におかれましても、大分県のスポーツ界のアントラージュを育成するために、是非とも一般演題やシンポジウムにおいて活発な議論をよろしくお願いいたします。

今年も、大分トリニータは頑張っています。今後、大分ではラグビーワールドカップ、東京ではオリンピック／パラリンピックが控えております。スポーツには様々な力があります。大分県スポーツ学会は、スポーツ振興し、スポーツを通して社会の永続的発展に寄与することを誓います。最後に、第9回学術大会の開催にあたりご尽力を賜りました役員、学会事務局の皆様にご心より感謝申し上げますとともに、ご後援頂きました団体のご発展と参加者の皆様のご健勝を祈念し、第9回学術大会開催のご挨拶に代えさせていただきます。

ごあいさつ



第9回学術大会 大会長

高橋 隆一（(公社) 大分県理学療法士協会 理事 / 社会局 局長）

第9回大分県スポーツ学会の学術大会を12月3日（日）に大分県消費生活・男女共同参画プラザ「アイネス」にて、テーマ『スポーツ選手を成功に導くためのアントラージュ』として開催する事になりました。アントラージュとはフランス語で「取り巻き」を意味します。選手が一つの目標に向かって成功を成し得るためには、監督・指導者（コーチ）・関係スタッフ・家族等さまざまな方々の存在があり、選手の周りには沢山の方々のサポートがあることに気づきます。これらの方々の協力によって、より良いパフォーマンスを発揮することが出来ます。そこで今回は『成功＝勝利』という言葉に置き換え、いかに選手に関りを持つ方々によって勝利へ導くことが出来るのかを話し合うことが出来る機会になればと思い、このようなテーマに致しました。シンポジウムでは各界から堀 仁史先生（フィジカルトレーナー、日本文理大学 経営経済学部 経営経済学科 准教授）、梶原 誠先生（チーム大分 ウェイトリフティング競技 監督）、松元義人先生（大分県スポーツトレーナーズ協議会 会長）、町田 圭先生（チーム大分 陸上競技 監督）4名の先生方をお願いし、ご登壇して頂きました。今回のテーマを含め会場の方々と共に意見を出し、色々な立場から議論をかわすことが出来る良い機会になればと考えております。

また基調講演といたしましては、本学会の顧問 森 照明先生（社会医療法人敬和会 統括院長）にテーマ『選手を活かすメンタルトレーニング』、本学会の副理事長であります大場俊二先生（大場整形外科 院長）にテーマ『成長期のスポーツ障害を防ぐために』の題で講演頂きます。中央ではなく大分から常に全国に向けて情報発信されている先生方でもあります。スポーツを行う上で、とても参考となる貴重な講演となっています。

学会の趣意でもありますスポーツに関係する様々な分野の方々と情報交換と人材育成に繋がる学術大会となることを期待し、また多くの参加された皆様にとって有意義な機会になることを祈念し挨拶とさせていただきます。

プログラム

午前の部 (10:00~12:20)

開 会	10:00~
-----	--------

一般演題発表	10:10~11:50
--------	-------------

セッション① 10:10~10:55 5題予定 (発表7分、質疑応答2分)

座長 西別府病院 スポーツ医学センター 保科 早苗
西別府病院 スポーツ医学センター 天田 浩司

1. 中学野球選手の成長期の軌跡 ~Medical Check&Reportを通じて~

しん整形外科リハビリテーション&スポーツクリニック 板井 友亮

2. ゲームの勝敗や優勝の不確実性からみたスポーツ振興策

大分県立看護科学大学 稲垣 敦

3. テニス競技における医科学活動 メディカルチェック・フィジカルチェックを通して

(公社)大分県理学療法士協会 / 社会局 スポーツ事業部 / 中村病院 リハビリテーション科 黒田 厚

4. 大分県サッカートレセン女子への栄養サポートを通じて -現状報告と管理栄養士の役割-

大場整形外科 寺山 絵未

5. トレーナーサポート体制の質的向上に向けた取り組み

(公社)大分県理学療法士協会 / 社会局 スポーツ事業部 / 中村病院 リハビリテーション科 宮野 元樹

セッション② 10:55~11:50 6題予定 (発表7分、質疑応答2分)

座長 大分三愛メディカルセンター 山田 雅也
大分県立看護科学大学 稲垣 敦

1. サプリメントメーカーに対して行った製品のドーピングに関する調査

(公社)大分県薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会 河村 聡志

2. 成長期スポーツ障害防止対策 -メディカルマネージャー制度- 九州からの展開

大場整形外科 中村 友

3. 電子顕微鏡が捉えたヒト股関節の微細構築

大分医学技術専門学校 島田 達生

4. アスリートの疲労について考える

西別府病院スポーツ医学センター 天田 浩司

5. リアラインゴルフメソッドと三次元動作解析の可能性

大分県スポーツ医科歯科研究会 山原 幹正

6. 大分県スポーツ学会認定スポーツ救護ナース・救護員の派遣の現状

大分岡病院 小副川直子

ポスター発表	12:00~12:20
--------	-------------

休 憩	12:20~13:00
-----	-------------

プログラム

午後の部 (13:00～17:00)

教育講演

13:00～14:10

教育講演① 13:00～13:30

座長 大分県スポーツ学会 理事 牧 健一郎

選手を活かすメンタルトレーニング

(一社) 大分県スポーツ学会 顧問 / 社会医療法人敬和会 統括院長 森 照明 先生

教育講演② 13:40～14:10

座長 (公社) 大分県作業療法協会 会長 高森 聖人

成長期のスポーツ障害を防ぐために

(一社) 大分県スポーツ学会 副理事長 / 大場整形外科 院長 大場 俊二 先生

シンポジウム

14:20～16:50

スポーツ選手を成功に導くためのアントラージュ

座長 (公社) 大分県理学療法士協会 理事 / 社会局 局長 高橋 隆一

シンポジスト4名 14:20～15:50

スポーツ選手を成功に導くためのアントラージュ

フィジカルトレーナー / 日本文理大学 経営経済学部 経営経済学科 准教授 堀 仁史 氏

「チーム大分ジュニアアスリート発掘事業」について

大分県スポーツトレーナーズ協議会 会長 松元 義人 氏

スポーツ選手を成功に導くためのアントラージュ～人を導くうえで心がけていること～

チーム大分 ウェイトリフティング競技 監督 梶原 誠 氏

スポーツ選手の力を発揮させる～結果を出すための組織作り～

チーム大分 陸上競技 監督 町田 圭 氏

総合討論 15:55～16:50

閉 会

17:00

名 義 後 援

大分県教育委員会
公益財団法人 大分県体育協会
一般社団法人 大分県医師会
公益社団法人 大分県薬剤師会
公益社団法人 大分県看護協会
公益社団法人 大分県栄養士会
公益社団法人 大分県理学療法士協会
公益社団法人 大分県作業療法協会
一般社団法人 大分県歯科医師会
一般社団法人 大分県サッカー協会
大分県障害者スポーツ指導者協議会
公益社団法人 大分県柔道整復師会
大分スポーツリハビリテーションセンター
独立行政法人 国立病院機構 西別府病院
大分県立看護科学大学
大分合同新聞社
OBS大分放送
TOSテレビ大分

AIR SALONPAS



The image shows a hand holding a small can of Air Salonpas Jet, spraying it. To the right is a full can of the same product. The can is silver with black and red text. The background is a gradient of grey and white.

Hisamitsu®

スプレー式鎮痛消炎剤

AIR SALONPAS JET^α

筋肉痛
筋肉疲労
回復
エアースalonpas®
ジェットα
微香性
150mL
For muscular pain
and fatigue after
sports: Good stimu-
lating. One spray re-
lieves pain.
第3類医薬品
ガス抜きキャップ付き

スポーツ時の
筋肉痛、筋肉疲労に

ジェット噴射で、冷却力アップ 微香性で、においダウン

エアースalonpas®ジェット^α

筋肉痛・筋肉疲労に 第3類医薬品

※当社エアースalonpas E X 比

©この商品に関するお問い合わせは、久光製薬お客様相談室へ。☎ 0120-133250
受付時間／9:00-17:50(土日・祝日・会社休日を除く) www.airsalonpas.jp

OTC
マーク

スポーツおおいた 創刊号 2017.12

33

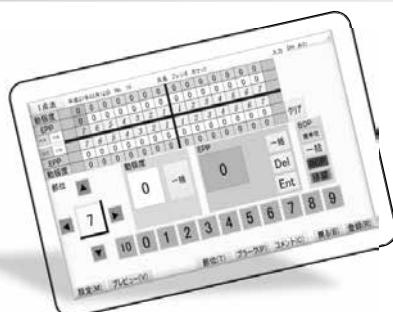
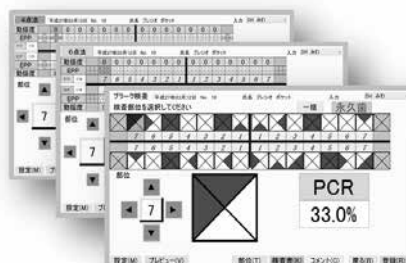
歯周検査アプリ



「プレシオポケット」

好評発売中！！

- 1 レセコン使わず手軽にタブレットで検査入力
- 2 ブラークチャートも簡単タッチ入力で業務記録も
- 3 検査表比較で患者さんとのコミュニケーションアップ
- 4 弊社レセコンと連携するとさらに効率アップ



お問い合わせ先

テレビ宮崎グループ
株式会社システム開発 大分支社
〒870-0025
大分市顕徳町1丁目14-1河邊ビル103
TEL097-538-6163



Sports Pharmacist
スポーツファーマシスト

ドーピング禁止薬についての質問は、 薬剤師会にお問い合わせ下さい！

日本アンチ・ドーピング機構の認定薬剤師
スポーツファーマシストがお答えします。

【問合わせ先】

大分県薬剤師会 薬事情報室

TEL：097-544-9512

FAX：097-544-8060



公益社団法人大分県薬剤師会

義歯・AI ノンクラスプデンチャー・金属床
スポーツマウスガード・CAD / CAM



有限 豊 歯 研
会社

〒870-0913 大分市松原町 3-5-32
TEL・FAX 097-551-8967



株式会社 オリエンタル 歯科器材
HENRY SCHEIN®

本 社	大 分 市 今 津 留 3 丁 目 1 6 - 1 8	〒870-0938	TEL 097(558)7507	FAX(551)5731
福岡支店	福岡市博多区東光寺1丁目25-18	〒816-0096	TEL 092(436)7230	FAX(456)7231
北九州営業所	北九州市八幡西区丸尾町12-12 グリーンコート101号	〒807-0826	TEL 093(692)5899	FAX(647)5811
延岡営業所	延岡市緑ヶ丘3丁目6-9	〒862-0863	TEL 0982(35)0531	FAX(35)705
熊本営業所	熊本市東区昭和町1-19	〒861-2108	TEL 096(360)7008	FAX(360)7018
長崎営業所	諫早市貝津町828-1	〒854-0063	TEL 0957(25)4362	FAX(25)4542
宮崎営業所	宮崎市恒久4丁目8-3	〒860-0913	TEL 0985(64)0975	FAX(64)0958
鹿児島支店	鹿児島市高麗町24番2号	〒860-0051	TEL 099(257)3450	FAX(256)4174

感動を、シェアしたい。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。
そして、地域の皆さまやお客さまと、
その発展・成功と共に喜び、
「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。
それが私たちの、感動です。

 大分銀行 明野支店

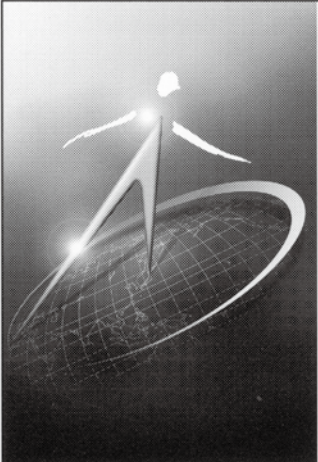


まだないくすりを
創るしごと。

www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬株式会社



関節機能改善剤

(処方箋医薬品) 注意—医師等の処方箋により使用すること

日本薬局方 精製ヒアルロン酸ナトリウム注射液

アルツ[®] 関節注25mg

アルツ[®] ディスポ[®] 関節注25mg

- 薬価基準収載
- 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む
使用上の注意等については添付
文書をご参照ください。



生化学工業株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目6-1

(製造販売元)

発売元〔資料請求先〕

科研製薬株式会社
〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8
医薬品情報サービス室
(2016年9月作成) ARZ04GK



非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤 一高尿酸血症治療剤— (薬価基準収載)

ウリアデック[®]錠

20mg 40mg 60mg

URIADEC[®] 20・40・60 (トピロキソスタット錠)

● 処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること



製造販売元
株式会社 三和化学研究所
名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631
● ホームページ <http://www.skk-net.com/>

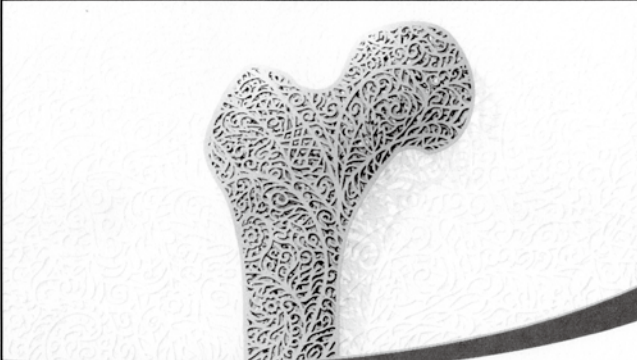
資料請求先・問い合わせ先

コンタクトセンター

0120-19-8130

受付時間：月～金 9:00～17:00(祝日は除く)

2015年5月作成 (NI-4/1)



骨粗鬆症治療剤

(薬価基準収載)

リクラスト[®] 点滴静注液5mg

ソレドロン酸水和物注射液 劇薬 処方箋医薬品[®]

Reclast[®] for i.v. infusion 5mg ※注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の
注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元
(資料請求先)

旭化成ファーマ株式会社

医薬情報部 くすり相談窓口
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
☎ 0120-114-936 (9:00～17:45/土日祝、休業日を除く)
URL: <http://www.asahikasei-pharma.co.jp>

提携先

ノバルティス ファーマAG
スイス

AsahiKASEI

2017年6月作成

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します









<http://www.tsumura.co.jp/>

● お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2016年9月印刷) OWC-A05-K



歯科材料・歯科器械ディーラー



フォルディ株式会社

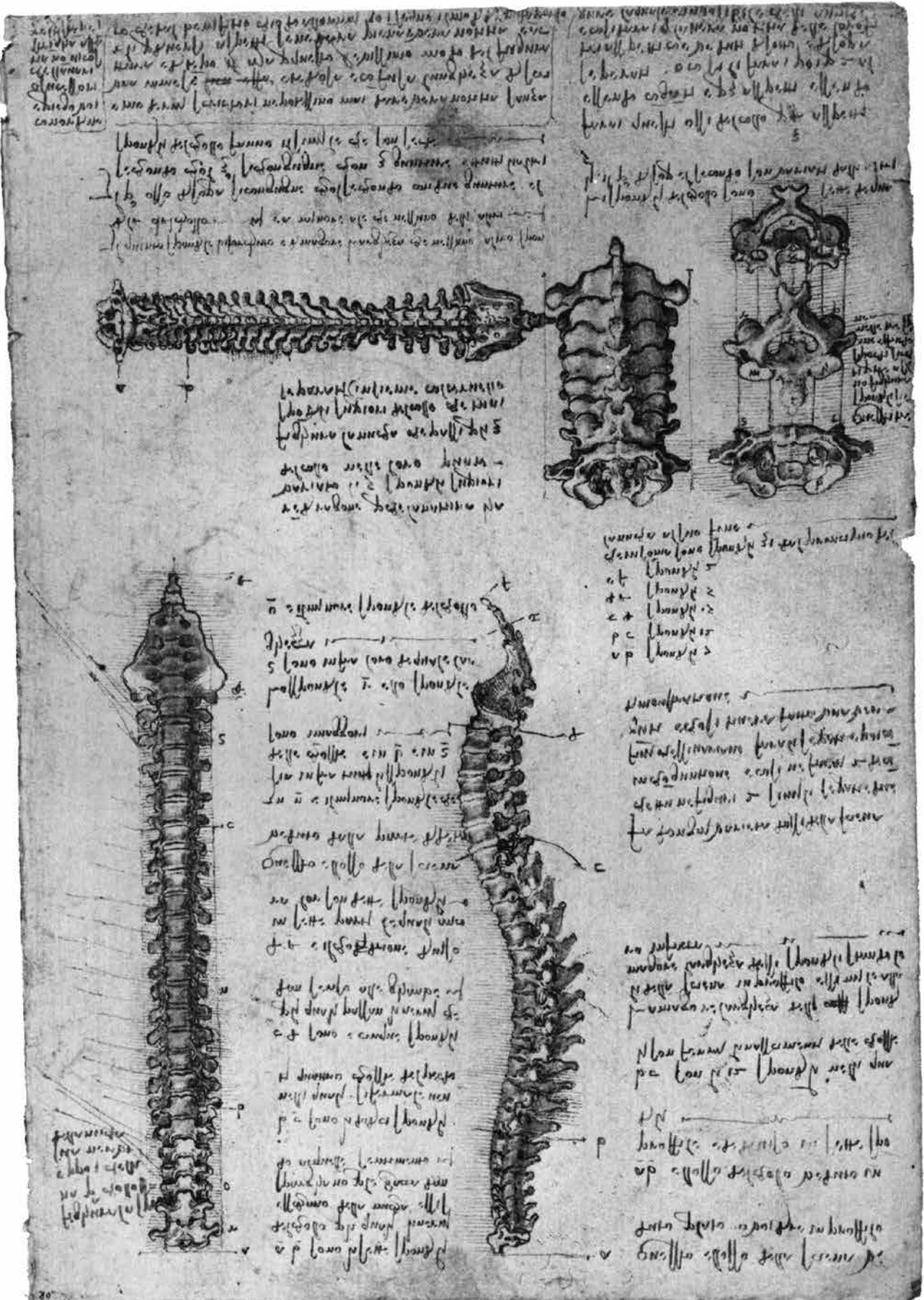


「
そう、そう！
これが欲しかった。
」

そんな歯医者さんのお悩み、解決します。

フォルディ株式会社 歯科医院・歯科技工所を中心に医療機器ならびに歯科材料の販売（左記器材の保守・修理業務（専任担当者））
各種セミナーの開催／歯科医院でご使用になる備品等の販売／開業・改装・移転等のお手伝い

大分営業所	〒870-0848 大分市賀来北1-17-7	TEL 097-549-0588 / FAX 097-549-2070
宮崎営業所	〒880-0035 宮崎県宮崎市下北方町下郷 6066 時任ビル 1F	TEL 0985-24-7034 / FAX 0985-27-0282



レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた脊柱

会員へのお知らせ

平成28年度事業決算報告書

(H28.4.1～H29.3.31)

I 一般正味財産
収入

科目	A・H28予算案	B・H28決算額	増減(B-A)	内訳
会費	1,220,000	1,097,000	-123,000	
年会費	920,000	797,000	-123,000	308名/709名(H29.3.31現在)
賛助会員	300,000	300,000	-	
第8回学術大会	740,000	424,000	-316,000	
参加費	120,000	84,000	-36,000	
広告料	620,000	340,000	-280,000	
第6回フォーラム	50,000	36,500	-13,500	
参加料	50,000	36,500	-13,500	
スキルアップ研修会	100,000	93,000	-7,000	
参加料	100,000	93,000	-7,000	
第7期スポーツ救護講習会	972,000	823,000	-149,000	
受講料	906,000	771,000	-135,000	
認定証作成料	66,000	52,000	-14,000	
メディカルマネージャー講習会	90,000	19,000	-71,000	
参加料	90,000	19,000	-71,000	
その他		300,098	300,098	積立金取り崩し
合計	3,172,000	2,792,598	-379,402	

支出

科目	A・H28予算案	B・H28決算額	増減(B-A)	内訳
事業費	2,063,000	1,924,981	-138,019	
第6回フォーラム	102,000	44,020	-57,980	
スキルアップ研修会	159,000	164,840	5,840	
第8回学術大会	724,000	729,398	5,398	
第7期スポーツ救護講習会	953,000	944,436	-8,564	
メディカルマネージャー講習会	125,000	42,287	-82,713	
理事会会議費	65,000	84,114	19,114	
施設使用料	40,000	42,306	2,306	
運営経費	25,000	41,808	16,808	
法人維持経費	71,000	71,000	-	
市県民税	71,000	71,000	-	
事務経費	551,000	513,480	-37,520	
専任事務局員給料	150,000	165,000	15,000	
ホームページ・メルマガ運営費	58,000	94,500	36,500	
通信費	148,000	137,118	-10,882	
消耗品費	30,000	15,512	-14,488	
発送代	120,000	59,080	-60,920	
印刷代	35,000	0	-35,000	
雑費	10,000	42,270	32,270	
別途積立金	300,000	0	-300,000	
合計	3,050,000	2,593,575	-456,425	
当期収支差額	122,000	199,023	77,023	

II 指定正味財産(スポーツ救護更新手続)
収入

科目	A・修正予算	B・決算額	増減(B-A)	内訳
スポーツ救護	170,000	140,000	-30,000	
更新料	170,000	140,000		¥2,000*70名
再発行手数料	0			
その他	0	3		受取利子
合計	170,000	140,003		

支出

科目	A・修正予算	B・決算額	増減(B-A)	内訳
スポーツ救護	102,000	4,640	-97,360	
更新料	102,000	4,640		4件
再発行手数料	0			
その他	0	0		
合計	102,000	4,640		
当期収支差額	68,000	135,363		

I 一般正味財産増減の部
収入

平成29年度事業予算

(H29.4.1～H30.3.31)

科目	A・H28決算額	B・H29予算案	増減(B-A)	内訳
会費	1,097,000	1,097,000	-	
①年会費	797,000	797,000	-	
②賛助会員	300,000	300,000	-	
第9回学術大会	424,000	424,000	-	
①参加費	84,000	84,000	-	
②広告料	340,000	340,000	-	
第7回フォーラム	36,500	36,000	-500	
参加料	36,500	36,000	-500	500円×72名
スキルアップ研修会	93,000	93,000	-	
参加料	93,000	93,000	-	1,000円×93名
第8期スポーツ救護講習会	823,000	1,835,000	1,012,000	
①受講料	771,000	1,284,000	513,000	(5,000円×82名 3,000円×6名)×3回
②認定証作成料	52,000	80,000	28,000	1,000円*80
③助成金	0	471,000	471,000	totoスポーツ振興くじ助成
メディカルマネージャー講習会	19,000	0	-19,000	
参加料	19,000		-19,000	
その他	300,098		-300,098	
合計	2,792,598	3,485,000	692,402	

支出

科目	A・H28決算額	B・H29予算案	増減(B-A)	内訳
事業費	1,924,981	1,922,000	-2,981	
第7回フォーラム	44,020	104,000	59,980	
スキルアップ研修会	164,840	165,000	160	
第9回学術大会	729,398	574,000	-155,398	
第8期スポーツ救護講習会	944,436	1,079,000	134,564	
※メディカルマネージャー講習会	42,287	0	-42,287	
理事会会議費	84,114	42,000	-42,114	
施設使用料	42,306	0	-42,306	
運営経費	41,808	42,000	192	
法人維持経費	71,000	175,000	104,000	
市県民税	71,000	71,000	-	大分県民税) ¥21,000 大分市民税) ¥50,000
税理士委託料・登記費用等		104,000		
事務経費	513,480	466,000	-47,480	
専任事務局員給料	165,000	165,000	-	
ホームページ・メルマガ運営費	94500	48000	-46500	
通信費	137,118	138,000	882	
消耗品費	15,512	15,000	-512	
発送代	59,080	60,000	920	
雑費	42,270	40,000	-2,270	
委員会活動費	0	400,000	400,000	
会議費		140,000	140,000	3～4回/年×7委員会
企画運営活動費		140,000	140,000	¥35,000×7委員会+α
印刷代		120,000	120,000	学会誌、賞状作成含む
別途積立金	0	300,000	300,000	
合計	2,593,575	3,305,000	711,425	
当期収支差額	199,023	180,000	-19,023	

II 指定正味財産増減の部(スポーツ救護更新手続)

収入

科目	A・H28決算額	B・H29予算案	増減(B-A)	内訳
スポーツ救護	140,000	60,000	-80,000	
更新料	140,000	60,000		¥2,000*30名
再発行手数料				
その他	3			
合計	140003	60,000		

支出

科目	A・H28決算額	B・H29予算案	増減(B-A)	内訳
スポーツ救護	4,640	110,000	105,360	
更新料	4,640	110,000		H28年度更新分含む
再発行手数料				
その他	0	0		
合計	4640	110,000		
当期収支差額	135,363	-50,000		

会計監査報告書

定款第7章第35条に則り、平成28年度の収支状況（平成28年4月1日～平成29年3月31日）を平成29年5月15日医療法人大場整形外科において慎重に監査した。その結果、現金出納簿、領収書に相違なく正確であることを認めたので報告する。

平成29年5月15日

監事 堀川 裕二 
監事 平川 史子 

大分県スポーツトレーナーズ協議会のご案内

1. はじめに

大分県スポーツトレーナーズ協議会は、スポーツ医・科学の理論や技術を基にスポーツトレーナーとして、スポーツ選手や指導者やスポーツ愛好家に対して、スポーツ活動の支援を行うとともに健康増進やその維持に関する事業を行い、健康とスポーツの競技力向上と傷害の予防に寄与することを目的として、平成 23 年 3 月 10 日に設立された。

2. 会員

当協議会の会員は、大分県内の（財）日本体育協会公認アスレチックトレーナー（日体協 AT）、日本体育協会公認フィットネストレーナー、理学療法士、柔道整復師、鍼灸・あん摩・マッサージ師、健康運動指導士、健康運動実践指導者、スポーツトレーナー、運動指導者など（学生も含む）で、上記の目的事業に賛同する者で構成されている。

現会員数は 74 名で、日体協 AT は 7 名在籍している。また、会員の保有資格と大まかな人数は、柔道整復師 30 名、理学療法士 26 名、健康運動指導士 10 名、鍼灸・あん摩・マッサージ師、CSCS、NACA-CPT、上級コーチ、介護福祉士などで構成されている。（共有資格あり）

3. 事業展開

当協議会の事業としては、国民体育大会並びに各種競技大会の帯同、国体選手などの強化指定選手及びチームに対するサポート体制づくり、スポーツ傷害予防・競技力向上に向けた啓発活動・広報活動の促進、スポーツトレーナーの技術向上のための研修会及び育成のための講習会等の開催、スポーツトレーナー活動の普及に関する調査・研究などである。

4. 活動状況

当協議会の活動状況は、国民体育大会の九州ブロック大会や本国体及び各種競技大会の帯同トレーナーとして多くの会員が活動している。その帯同トレーナーの養成事業として「大分県スポーツトレーナー養成講習会」を実施している。

また、国体選手などの強化指定選手のメディカルチェック及びフィジカルチェック、その結果からのコンディショニングなど競技力向上に関する取り組みを行っている。

他に、会員の技術・技能向上に向けた研修会と勉強会を年 1 回実施している。昨年度の研修会は、ワールドベースボールクラシックのチーフトレーナーである河野良徳先生（日体大）をお招きして実施した。今年度の勉強会は、近藤剛史先生（タカサゴデンタルオフィス院長）をお招きして実施した。

また、大分県の「チーム大分ジュニアアスリート発掘事業」の発掘プログラムの講師として数名の会員が参加し支援を行った。

5. 大分県スポーツトレーナー養成講習会の開催

平成 27 年 11 月より、スポーツトレーナーとして正しい医・科学知識を持ち、競技力向上を目指し、外傷・障害の予防に努め、広く健康に寄与できる人材の養成のため「大分県スポーツトレーナー養成講習会」を 14 回シリーズで開催している。

県内の各専門の先生方にご講義をいただき、現在まで 13 回のプログラムが終了している。第 1 期のエントリー者数は 140 名あり、平均参加者数は約 65 名の参加となっている。そのカリキュラムについて次ページに示す。第 2 期の開催については、平成 30 年の 5 月から予定している。

大分県スポーツトレーナー養成講習会（第1期） カリキュラム

	科目	講師	開催予定日
1	アスレティックトレーナーとは	加藤寛章	平成 27 年 11
	大分県体育協会を考えるトレーナーの役割 アスレティックトレーナーとは	小椋一慶	月 17 日
2	トレーニングⅠ	松元義人	平成 28 年 1 月 19 日
	スポーツ選手とトレーニングの意義とからだづくりについて		
3	スポーツ内科	松本悠輝	平成 28 年 3 月 15 日
	スポーツ選手の内科疾患と突然死について		
4	トレーニングⅡ	石井聡	平成 28 年 5 月 17 日
	スポーツ選手とストレッチの意義について		
5	アスレティックリハビリテーション概論	高司博美	平成 28 年 7 月 12 日
	アスレティックリハビリテーションの意義、注意点		
6	スポーツ整形外科Ⅰ	麻生邦一	平成 28 年 9 月 13 日
	上肢スポーツ傷害について		
7	部位ごとのアスレティックリハビリテーション（上肢編）	牧健一郎	平成 28 年 11 月 15 日
	上肢スポーツ傷害へのアスレティックリハビリテーション		
8	部位ごとのアスレティックリハビリテーション（体幹編）	高司博美	平成 29 年 1 月 17 日
	頸椎・腰椎疾患へのアスレティックリハビリテーション		
9	スポーツ整形外科Ⅱ	大場俊二	平成 29 年 3 月 14 日
	体幹・下肢スポーツ傷害について		
10	部位ごとのアスレティックリハビリテーション（下肢編）	都甲純	平成 29 年 5 月 16 日
	下肢スポーツ傷害へのアスレティックリハビリテーション		
11	テーピング講習	川野達哉	平成 29 年 7 月 11 日
	膝・足関節などのテーピングについて		
12	トレーニングⅢ	長野政康	平成 29 年 9 月 19 日
	スポーツ選手のためのトレーニング方法について		
13	スポーツと脳	森照明	平成 29 年 11 月 21 日
	スポーツにおける脳傷害について		
14	女性アスリートへのサポート	松田貴雄	平成 30 年 1 月 16 日
	女性アスリート特有の疾患とそのサポート		

6. おわりに

当協議会は、以上のような活動を行っていますので、ご興味をお持ちの方は下記連絡先までご連絡ください。多くの方々の入会を心よりお待ちしております。

また、第2期の大分県スポーツトレーナー養成講習会の開催も予定していますので、ご参加のほど検討いただければ幸いです。未入会の方でもご参加いただけますので、よろしくお願いいたします。

最後に、大分県スポーツ学会様の今後の益々のご活躍とご発展を祈念いたします。

○ 連絡先 大分県地域成人病検診センター運動指導課内 097-569-2211(330)

Email : oitatrainer@outlook.com

長野・石井まで

「スポーツおおいた」投稿規定

1. 「スポーツおおいた」は、一般社団法人大分県スポーツ学会の機関誌であり、県民の健康とスポーツ振興に関する研究発表とスポーツ全分野の方々の情報交換と人材育成を目的とする学術誌であると同時に連絡誌を兼ねる。
2. 本誌への投稿論文の主著者は、本会の会員に限る。
3. 投稿の採否は、2名の校閲者の査読をうけた後、学会誌編集委員会に於いて決定される。また、原稿内容について修正を求めることがある。
4. 研究内容や方法が倫理的に不適切であると編集委員会が判断した場合、受理しないことがある。
5. 本誌には原著、総説、短報、学術集会記録、寄書、随想、書評、グラビア、役員会記録、総会議決、名簿等を掲載する。
6. 原稿は、要旨、キーワード（5語以内）、序文、材料と方法、結果、考察および文献の順に並べる。図・表およびそのリジエンドはテキスト原稿の後に添付する。
7. 頁（最初の頁）には、表題、著者名、所属、ランニングタイトル（25字以内）、原稿の枚数、図・表の枚数と、投稿責任者の連絡先（氏名、所属、郵便番号、住所、電話番号、Fax番号、電子メールアドレス）を記す。
8. 短報、寄書、随想は刷り上がり2頁以内とする（字数に関しては、第11項参照）。掲載料は無料とする。
9. 原稿はワードプロセッサを用い、A4版用紙に（ダブルスペースで）横書きとする。和文の場合、常用漢字を用いる（句読点は、「、」と「。」を用いる）。本文中の原語、数値、単位、引用文献番号などの英数字にはカッコを含めて半角文字を用いる。
10. 掲載料は1編につき6頁まで3,000円とする。原著、総説の増頁は1頁につき1,000円を加算する。カラー写真の使用については実費を加算し、1頁あたり5,000円とする。別刷代は20部まで無料、それ以上の部数については実費を徴収する。
11. 印刷頁の体裁はA4判、横2段とし、版面は横161mm、縦236mmである。カーニングや微調整を行うが、1段は25字52行程度で、1頁は2,600字程度である。表題、著者名、所属などは横1段とし、400字程度が充てられる。
12. 図（写真を含む）は、何番目の図か判別できること。表は表番号と表題を表上に記す。図・表の大きさはできるだけ印刷倍率に近い大きさで提出する。
リジエンドは(本文中の)別紙に記載する。採択後、図・表はフォントを埋め込んだPowerpointファイルとしての提出を求める。カラー写真で提出された図を白黒印刷することは可能である。
13. 文献は引用順に一連番号を付ける。文献欄には下記の例に従い、文献の著者名、発行年、論文の題、出典および頁を記載する。
 - 1) Shimada T, Kawazato H, Yasuda A, Ono N, Sueda K (2004) : Cytoarchitecture and intercalated disks of the working myocardium and the conduction system in the mammalian heart. Anat Rec 280A: 940-951
 - 2) 須磨幸蔵、島田宗洋、島田達生（1990）哺乳動物心臓の刺激伝導系、丸善、東京
 - 3) 島田達生（2002）：心筋の構造、最新心電学（外山淳治、春見建、有田眞 編）丸善、東京、pp25-50
 - 4) 文部科学省スポーツ・青少年局企画・体育課（2010）. スポーツ立国戦略.
http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm
（最終閲覧日：2017年8月28日）
14. 本文中の引用箇所では右肩上に右片カッコにしてその番号をつける（全て半角文字を用いる）。
15. 投稿の際には、原則として上記原稿（図・表を含む）をe-mailに添付して送付する。写真のコピーは細部が明瞭に判明できるものでなければならない。
16. 掲載された論文等の著作権は大分県スポーツ学会に帰属する。
17. 著者校正は初稿のみとする。
18. 原稿の送付先
〒870-8658 大分市千代町 1-10-1
平松学園 大分医学技術専門学校
「スポーツおおいた」編集委員長 島田 達生
Tel : 097-535-0201
Fax : 097-537-8700
E-mail : tshimada@oita-u.ac.jp

一般社団法人大分県スポーツ学会 定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人大分県スポーツ学会と称し、英文ではOita Society of Sports Scienceとする。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人の主たる事務所は、「大分県大分市明野北一丁目1番11号大分スポーツリハビリテーションセンター内」、従たる事務所は、「大分県大分市西鶴崎三丁目7番11号大分岡病院内」に置く。

(目的)

第3条 当法人は、スポーツに関する知識と技術の研鑽を積み、会員相互の情報交換を通じて、大分県における健全なる青少年の育成とスポーツの人材育成を図ると共に、県民の体力向上、健康増進、スポーツ文化の醸成に寄与することを目的とする。

2 当法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会の開催
- (2) 人材育成事業
- (3) スポーツ救護ナース及びスポーツ救護員の養成に関する事業
- (4) 会誌等の刊行
- (5) 当法人発展のためのネットワーク事業
- (6) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(公告方法)

第4条 当法人の公告は、電子公告の方法により行う。ただし、電子公告の方法による公告をすることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合には、官報に掲載してする。

(機関)

第5条 当法人の機関は、社員総会、理事及び理事会並びに監事とする。

第2章 会員及び社員

(会員及び社員の資格)

第6条 当法人は、次の二種とし、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下『法人法』という。)上の社員(以下「社員」という。)とする。

- (1) 正会員 当法人の目的に賛同した個人
- (2) 賛助会員 当法人の事業を賛助するために入会した団体・機関

(入会)

第7条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を受けなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 会員は、年会費を支払わなければならない。ただし、正会員は年会費及び入会金を納入しなければならない、これをもって法人法第27条に規定する経費とみなす。

2 年会費及び入会金の額は、社員総会の決議により定めるものとする。

(会員名簿及び社員名簿)

第9条 当法人は、正社員、賛助会員の氏名及び住所を記載した「会員名簿」を作成して当法人の主たる事務所に備えておくものとし、当該名簿のうち正会員に関する記載をもって、法人法第31条に規定する社員名簿とする。

2 当法人の正会員、賛助会員に対する通知又は催告は、「会員名簿」に記載した住所又は会員が通知等をすべき場所として届け出た住所に宛てて行うものとする。

(退会)

第10条 当法人の会員は、次に掲げる事由により退社する。

- (1) 当法人所定の退会届書により退会届の申し出があったとき
- (2) 正当な理由なく3年間会費を滞納したとき
- (3) 本会の名誉を著しく傷つけたとき

2 会員の除名は、正当な事由があるときに限り、社員総会の決議によってすることができる。ただし、正会員の除名については法人法第30条及び第49条第2項第1号の定めるところによるものとする。

第3章 社員総会

(社員総会の決議事項)

第11条 社員総会は、法人法に規定する事項及び定款に定めた事項に限り、決議することができる。

(招集)

第12条 当法人の定時社員総会は、毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内に招集し、臨時社員総会は必要に応じて招集する。

2 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い

副理事長がこれを招集する。

- 3 社員総会を招集するには、会日より2週間前までに、社員に対して招集通知を発するものとする。

(招集手続の省略)

第13条 社員総会は、社員全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(議長)

第14条 社員総会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い副理事長が議長となる。

(決議の方法)

第15条 社員総会の決議は、法令又は定款に別段の定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

- 2 法人法第49条第2項に定める決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上の多数をもって行う。

(議決権)

第16条 社員は、各1個の議決権を有する。

(社員総会の決議の省略)

第17条 社員総会の決議の目的たる事項について、理事又は社員から提案があった場合において、その提案に社員の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(議決権の代理行使)

第18条 社員は、他の社員を代理人として、議決権を行使することができる。ただし、その場合は社員総会ごとに代理権を証する書面を提出しなければならない。

(社員総会議事録)

第19条 社員総会の議事録については、法令に従い議事録を作成し、議長が署名又は記名押印の上、10年間当法人の主たる事務所に備え置くものとする。

第4章 理事、監事及び代表理事

(理事の員数)

第20条 当法人の理事は、20名以内とする。

(監事の員数)

第21条 当法人の監事は、2名とする。

(理事及び監事の選任の方法)

第22条 当法人の理事及び監事の選任は、社員総会において総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

(代表理事等)

第23条 当法人には、理事会の決議により、代表理事1名を選定し、代表理事は理事長とする。また、副理事長2名及び常任理事を複数名置くことができる。

2 理事長は、当法人を代表し、かつ、会務を総理する。

3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従いその職務を代行し、理事長が欠けたときはその職務を行う。

4 常任理事は、法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事とし、当法人の業務を分担執行する。

5 理事会はその決議により、副理事長及び常任理事の中から代表権を有する理事を選定することができる。

(理事及び監事の任期)

第24条 理事の任期は選任後2年以内、監事の任期は選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする。

2 任期満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

3 増員により選任された理事の任期は、他の在任理事の任期の残存期間と同一とする。

第5章 理事会

(招集)

第25条 理事会は、理事長がこれを招集し、会日の1週間前までに各理事及び各監事に対して招集の通知を発するものとする。ただし、緊急の場合はこの期間を短縮することができる。

2 理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い副理事長がこれを招集する。

(招集手続の省略)

第26条 理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集手続を経ずに開催することができる。

(議長)

第27条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い副理事長がこれに代わる。

(理事会の決議)

第28条 理事会の決議は、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第29条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案した場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたときは、監事が当該提案に異議を述べた場合を除き、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第30条 理事会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、出席した理事のうち代表権を有する理事及び監事が署名又は記名押印し、10年間主たる事務所に備え置くものとする。

第6章 委員会及び顧問

(委員会)

第31条 当法人は、事業運営の円滑化、効率化を図るため、理事会の決議により委員会を設置することができる。

2 委員会の委員は、会員及び学識経験者のうちから理事会が選定する。

3 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

(顧問)

第32条 当法人は、理事会の決議により顧問を若干名置くことができる。

2 顧問に関し必要な事項については、理事会の承認を得て理事長が定める。

(顧問の職務)

第33条 顧問は、専門的知見に基づき理事長の諮問に応え意見を述べることができる。

第7章 計 算

(事業年度)

第34条 当法人の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(計算書類等の定時社員総会への提出等)

第35条 理事長は、毎事業年度、法人法第124条第1項の監査を受け、かつ同条第3項の理事会の承認を受けた計算書類（貸借対照表及び損益計算書）及び事業報告書を定時社員総会に報告しなければならない。

(計算書類等の備え置き)

第36条 当法人は、各事業年度に係る貸借対照表、損益計算書及び事業報告書並びにこれらの附属明細書（監事の監事報告書を含む。）を、定時社員総会の日の2週間前の日から5年間、主たる事務所に

備え置くものとする。

(剰余金の不配当)

第37条 当法人は、剰余金の配当をしない。

第8章 基 金

(基金の拠出)

第38条 当法人は、基金を引き受ける者を募集することができる。

(基金の募集)

第39条 基金の募集及び割当て、払込み等の手続きに関しては、理事会の決議及び理事会が制定する「基金取扱規程」による。

(基金拠出者の権利)

第40条 当法人は、拠出された基金については、基金拠出者との合意により定めた期日が到来するまで返還しない。

第41条 基金の返還は、定時社員総会の決議に基づき、法人法第141条第2項に定める額の範囲内で、「基金取扱規程」に従い行うものとする。

(代替基金の積立)

第42条 基金の返還を行うときは、返還する基金の額に相当する金額を代替基金として積み立てなければならない。

第9章 解散及び清算

(解散の事由)

第43条 当法人は、次に掲げる事由によって解散するものとする。

- (1) 社員総会の決議
- (2) 合併により当法人が消滅する場合
- (3) 破産手続開始の決定
- (4) 裁判所の解散命令

(残余財産の帰属)

第44条 当法人の残余財産は、社員総会の決議により当法人の類似の事業を目的とする公益社団法人、特定非営利活動法人又は国若しくは地方公共団体等が運営する公益目的の基金等に寄付するものとする。

第10章 附 則

- 1 この定款は、平成25年3月13日から施行する
- 2 この定款は、平成26年6月7日から施行する

表紙解説

大分県出身者のオリンピックメダリスト

たにがわ ていじろう
谷川 禎次郎

昭和27年：ヘルシンキオリンピック 男子4×200m自由形リレー銀メダル

略歴：大分県佐伯市出身 佐伯鶴城高校～日本大学～富士製鐵（現：新日鐵住金）

現在：東京在住。

谷川禎次郎は大分県出身では、初めてオリンピックでメダルを取ったメダリストである。1952年（昭和27年）にフィンランドで開催された第8回ヘルシンキオリンピック、男子800m自由形リレーで第4泳者（アンカー）を務め、銀メダルを獲得している。

日本は1948年（昭和23年）のロンドンオリンピックには第2次世界大戦が影響して出場していない。1952年（昭和27年）のヘルシンキオリンピックが、戦後初めてのオリンピックである。前回出場が1936年のベルリンオリンピックであるから、日本としては実に16年ぶりのオリンピック出場であった。

谷川禎次郎は1932年（昭和7年）大分県佐伯市鶴見町丹賀の生まれ。豊後水道に突き出た鶴見半島で、遊ぶ場所は周囲の海しかなかった環境で育った。生まれた頃から海で泳いでおり、丹賀小学校～鶴見中学～旧制佐伯中学（現佐の佐伯鶴城高校）へと進学した。

昭和20年佐伯中学に入学したが終戦直後であり、なかなか生徒が集まらず、海軍兵学校や陸軍士官学校から故郷へ帰った生徒達が集り、5学年そろったのが昭和20年10月を過ぎていた。佐伯中学では部活動への入部が生徒全員に義務付けられ、迷っていたところ先生の勧めもあって水泳部に入部した。困ったのは通学である。鶴見半島から佐伯市内までは船しかなく、時間もかかるので、大入島の親戚の家に下宿して、その御主人が毎日、船で櫓を漕いで佐伯の港まで往復してくれた（片道30分）。泳ぎでは頭角を現し、昭和24年、25年の日本高等学校水泳競技大会の200m自由形では2連覇している。記録は当時の手動計時で、2分20秒4（昭和24年大会）、2分10秒1（昭和25年大会）であった。戦後は食糧難で下宿生は弁当を持っていたが、通学生は昼休みに一時帰宅してお粥を食べていた。

当時、佐伯中学（佐伯鶴城高校）ではベルリンオリンピックで入賞（4位）した吉田喜一郎（早稲田大学）選手が有名であった。「フジヤマのトビウオ」と言われた古橋広之進選手が次々に世界記録を打ち立てた全盛期であり、谷川は古橋選手を慕って日本大学へ進学した。大学卒業後は富士製鐵本社総務部（東京）に勤務しながら水泳を続けた。

（記：宮明 透）

編集後記

2017年12月吉日に、一般社団法人大分県スポーツ学会の学会誌「スポーツおおいた」創刊号が発刊されました。編集委員、学会事務局、中央印刷の方々のご尽力と協力によって、創刊号の発刊に至りました。心より感謝の意を表します。学会誌の名称について、編集委員会は多くの候補の中から堅苦しくなく、親しみやすい「スポーツおおいた」を選び、拡大理事会がこの名称を承認しました。

表紙のイラスト絵がなぜ水泳なののでしょうか？2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本がオリンピックに初めて参加したのが、1912年第5回ヘルシンキ大会です。団長は講道館創始者嘉納治五郎で、選手はたった2名でした。さて、大分県で最初にメダルをとった種目は何でしょうか？それが水泳なのです。詳しい解説は学会誌章末に記載しています。ぜひ一読ください。

創刊号の内容は、巻頭言と祝辞から始まり、総説、第7回フォーラムの発表要旨が続いています。原稿を期限内に送っていただいた皆さんに感謝しています。表紙の右上にISSN番号があります。ISSN（International Standard Serial Number：国際標準逐次刊行物番号）とは、逐次刊行物を識別するための国際的なコード番号です。国立国会図書館は、ISSN日本センターとしての活動を行っています。我が学会誌「スポーツおおいた」は、価値ある学会誌です。今後、会員の皆さんが学術に対する熱意とスポーツを楽しむ心をもって内容の充実に努めることを期待しています。学会のロゴマークは大分県の県花である豊後梅を図案化しました。学会誌の運営に今後ともご指導、ご鞭撻、ご支援をよろしくお願いします。

（島田 達生）

スポーツおおいた

創刊号

発行：一般社団法人 大分県スポーツ学会
理事長 稲垣 敦（大分県立看護科学大学 教授）
発行日：2017年11月30日
事務局：大分スポーツリハビリテーションセンター（担当：石田、佐藤、牧）
〒870-0165 大分市明野北1-1-11
TEL 097-574-5132 FAX 097-574-5133
社会医療法人 敬和会 大分岡病院（担当：小副川、栗秋・佐藤）
〒870-0192 大分市西鶴崎3-7-11
TEL 097-522-3131（代） TEL/FAX 097-522-3576
編集委員長：島田 達生（大分医学技術専門学校 校長・大分大学 名誉教授）
編集委員：平川 史子（別府大学 食物栄養科学部 教授）
天田 浩司（西別府病院 循環器内科部長）
保科 早苗（西別府病院 スポーツ医学センター 歯科部長）
谷口 勇一（大分大学 教育福祉科学部 教授）
佐藤 浩二（社会医療法人敬和会 大分岡病院 法人統括リハビリテーション部長）
河村 聡志（大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部 / 大分県薬剤師会 アンチ・ドーピング委員会 委員）
石田 直也（大場整形外科）
ホームページ：<http://oitakenspo.jp/>
印刷：有限会社中央印刷
〒870-0025 大分市顕徳町2丁目2-38
TEL 097-532-3805 FAX 097-533-7779

